［関西学院で紡がれるそれぞれの物語］
私のKG相関図

［卒業生インタビュー］
ともに働く K.G. Persons

Meets at KWANSEI
スポーツニッポン新聞社
MLB担当記者 柳原直之氏

「はじめませんか、
親と子と関学の絆づくり。」

関西学院後援会通信

AUTUMN 2024 67

わが子と共に育み、共に歩む　MASTERY FOR SERVICE

MASTERY FOR SERVICE

Contents

67

03 後援会Navi
05 Meets at KWANSEI
09 私のKG相関図～関西学院で紡がれるそれぞれの物語～
17 ともに働く K.G. Persons
21 2つの研究が交差する KG Researchers' Eyes
23 From キャリアセンター
27 就職活動座談会
29 KG GO GLOBAL FROM CIEC
33 教えて！中道院長
35 新月祭2024
37 ホームカミングデー
39 後援会報告
43 イベントレポート
45 Welcome to KG campus
46 プレゼントのご案内
47 関西学院会館からのお知らせ

※本誌に登場する人物の学年・肩書などの情報は全て、取材当時のものです。

後援会 Navi

本誌の製作・発送を行っている関西学院後援会についてご紹介いたします。日頃より皆さまにはご理解とご支援をいただき、感謝しております。この機会に、改めて後援会について、より深く知っていただければ幸いです。

後援会とは

関西学院後援会は、保護者の立場から学院を後援する組織です。関西学院に所属するお子さまの保護者を会員としており、学校行事の補助や奨学金の設置など、学生生活のサポートを行っています。また、本誌の発行や父母歓迎行事をはじめとした保護者向けイベントの開催など、会員の皆さまとのつながりを深めるための還元事業も実施しています。

■ツールのご紹介

後援会サイト

後援会サイトでは『後援会通信』に掲載した過去の記事をカテゴリ毎に公開しています。その他、後援会事業に関するお知らせ・活動報告なども更新しておりますので、ぜひご覧ください。

LINE公式アカウント

後援会通信（年2回発行）と後援会サイトでの情報発信を補足することを目的として、LINE公式アカウントを運営しています。Webサイトの更新通知やイベント開催情報の配信などをはじめとした、即時性の高い情報発信を行います。フォローして後援会の最新情報をチェックしてください。

後援会会長あいさつ

平素より、関西学院後援会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

関西学院後援会は「学院の教育目的達成のため、保護者の立場から後援をなす」という目的で発足しました。現在でも、児童・生徒・学生などへの直接的な支援、また保護者の皆さまとの交流を通じての情報発信などが行われており、年々後援会の諸活動の必要性は高まってきています。そして少しずつですが、新たな取り組みも始めています。

さて、関西学院はキリスト教主義の学校です。お子さま方は、礼拝に集い、聖書に親しみ、讃美歌を歌う経験をします。また、授業ではスクールモットーである“Mastery for Service”について学び、近い将来実践できるようその意味を知ります。他の学校では体験できない素敵な学院生活を通じて、これまでも社会に貢献する人材を多く輩出してきました。そしてこれからもそうあり続けられるよう、見守り続けなければなりません。

最後に、大切なお子さまが通われる関西学院が、これからも「通いたい学校」「行かせたい学校」と多方面から高い評価を受けられるよう後援会活動を通じて努めますので、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

関西学院後援会
会長 江田 政亮
Eda Masasuke

本誌のご送付、後援会主催イベントへのご招待などの特典をご用意しています！

卒業生家族の会

各校のご卒業をもって後援会会員を退会される皆さまから「関西学院とのつながりを継続したい」とのお声をいただき設立された卒業生家族の会。後援会通信やイベントを通じ、お子さまのご卒業後も皆さまとつながり続けられますと幸いです。会員特典のさらなる充実も予定しています。右記の二次元バーコードよりお申し込みいただけます。

キャンパスを体感できるVR360°動画

離れていても関西学院を身近に感じていただけるようVR360°動画コンテンツをご用意しています。お手持ちの端末で二次元バーコードを読み込み、ご覧ください。以前、後援会通信と共にお届けした組み立て式VRスコープ『ハコスコ』をご使用いただくとよりリアルにキャンパスを体感いただけます。

組み立て式 VR スコープ
『ハコスコ』

■関西学院キャンパスツアー

西宮聖和キャンパス編が完成しました。

教育者をめざす学生が集う西宮聖和キャンパスならではの魅力が詰まったキャンパスツアー動画が完成しました。詳細はP. 45をご確認ください。

動画のご視聴はこちらから

その他のVR360°動画はこちらからチェック！

西宮上ケ原キャンパス編

シンボルである時計台をはじめとした美しいヴォーリズ建築が魅力の西宮上ケ原キャンパスをダイジェストでご紹介。

神戸三田キャンパス編

国境や文理など様々な境界を越える革新者（Borderless Innovator）の育成を図る神戸三田キャンパスの真価をお伝えします。

スポーツニッポン新聞社 MLB担当記者

柳原直之

Yanagihara Naoyuki

Meets at KWANSEI

各界で活躍する卒業生。その輝かしい功績の背景には、関西学院での様々な出会いがありました。

諦めることなく
追い続け、叶えた夢。
歴史に残る瞬間を捉え、
スポーツの力を伝えたい。

関西学院高等部を経て、2008年に関西学院大学経済学部を卒業された柳原直之さん。三菱東京UFJ銀行（現三菱UFJ銀行）にて銀行員を経験後、中学生時代から抱いていたスポーツ記者になる夢を叶えるため、2012年にスポーツニッポン新聞社へ入社されました。翌年には自身も幼少期から続けていた野球の担当記者になり、2014年には北海道に赴任し、北海道日本ハムファイターズを担当。その後、2018年に東京へ戻り、MLB（メジャーリーグベースボール）担当記者になりました。野球記者としてのキャリアを歩み始めてから現在に至るまで11年間、大谷翔平選手を追い、多くの歴史的瞬間に立ち会ってきた柳原さんは、多数のメディアにも出演。2024年3月には大谷選手に関する記録をまとめた書籍も発刊されています。今回は、高等部・大学時代の経験や、仲間との出会い、そして現在のお仕事にかける思いについてお伺いしました。

Meets at KWANSEI

文武両道にこだわり、野球に打ち込み続けた7年間

―関西学院高等部・大学での思い出について教えてください。

関西学院は実家から徒歩5分ほどの近い距離にあり、中学生の頃、関学高等部野球部の練習会に行ったこともありました。小学校1年生の頃から野球を始め、中学では軟式野球部に所属。高校生になったら、甲子園をめざしながら勉強にも打ち込み、文武両道を実現したいと思っていました。そんな折に、関学高等部野球部が夏の兵庫県大会で準優勝。理想を叶えるにはここしかないと感じ、進学を決めました。

高等部は、まるで大学のように自由度が高く、自主性が求められる環境。私は、理解力や行動力に優れた同級生たちの中で埋もれないよう、自分なりの存在感を発揮したいとあがいていました。文化祭の実行委員長に立候補し、務めたこともありましたね。また、当時から新聞のスポーツ欄が好きでスポーツ報道に携わりたかったため、活字に慣れるよう、図書館で本を読みあさりました。ある年の読んだ書籍の数は年間100冊以上。この数は学内でも上位で、表彰も受けました。

硬式野球部でも同様に、もがく日々を過ごします。部員数が120名にも上る大規模な部で、私と同じ投手だけで30人ほどいました。結果を出さないと上のチームに上がれない厳しい環境で、何とかのし上がろうと、がむしゃらに練習したものの、最終学年では怪我もあってベンチ入りが叶わず。憧れの甲子園に挑戦することすらできず、とても悔しかったのを覚えています。勉強でも野球でも、高等部でレベルの高い世界を経験しました。挫折を味わいましたが、自分の強みは何か、どうすれば世の中を生き抜けるかということを、周囲からの評価も踏まえて考える力が自然と身につきました。この力は今の時代にこそ必要だと、マスコミの仕事に従事する中で、特に実感しています。

こうした高校時代を過ごし、大学でも勉強も諦めず、本気で野球に打ち込みたいと真剣に考えました。そして入部した軟式野球部（現準硬式野球部）では、全国優勝やリーグ戦での個人タイトルを複数回獲得。関西選抜チームの一員として、海外遠征も経験させてもらいました。諦めずに野球を続けて本当に良かったと思います。仲間と何かを成し遂げるという経験は、その後の人生における全てに生きます。高校・大学時代を共に過ごした野球部のメンバーは一生の仲間です。皆、現在は幅広い業界で精力的に活動しており、忙しい人も多いですが、今でも定期的に会っています。

自分の仕事に誇りをもち、野球記者として生きる

―卒業後は銀行に勤められたのちに、スポーツニッポン新聞社に入社されています。

中学生の頃から将来の夢は新聞記者になりスポーツ報道に携わることでしたが、就職活動が上手くいかず、銀行に就職しました。しかし夢を諦めきれず、銀行で働きながら、第2新卒という形で再び新聞社に挑戦。人事部から顔を覚えられるほど、何度も面接に行きました。その粘り強さが功を奏し、大学時代から含め3度目の挑戦で、現在も勤めるスポーツニッポン新聞社に合格。関西学院で学んだ継続することや行動を起こすことの大切さを改めて感じました。

ただ、記者になるまで遠回りをしたことも、意義深い経験になりました。社会に対する広い視野を得られましたし、銀行員時代の上司に教わった「うそをつかない、かっこつけない、言い訳しない」、「どんな小さな仕事でも馬鹿にせず全力で取り組め」という言葉は、今でも私の行動規範となっています。

―スポーツニッポン新聞社でのお仕事について教えてください。

1年目の2012年は編集センターに配属されて紙面のレイアウトなどを経験し、2年目に野球担当の記者となりました。そして3年目の2014年に北海道に転勤して北海道日本ハムファイターズを担当。2018年に東京に戻って以来、現在もMLB（メジャーリーグベースボール）を担当しています。MLBの取材現場で、イチロー選手をずっと追ってきた共同通信社の小西記者やスポーツニッポン新聞社の奥田通信員、ロサンゼルス・ドジャース取材歴約30年の盆子原記者など、多くの関学卒業生が活躍していることが誇りです。北海道日本ハムファイターズ・宮西選手、千葉ロッテマリーンズ・荻野選手といった大学で同学年だった野球選手が人脈をつないでくれることもあり、関学生の絆を感じます。

これまで、大谷翔平選手をはじめ著名な選手の取材を担当してきました。大谷選手の囲み取材には毎回参加し、それ以外にも単独インタビューを通算10回ほど行っています。正式な担当歴は11年ですが、初めて出会ったのは2013年頃で、現在彼を担当する記者の中でも最古参です。大谷選手のロサンゼルス・エンゼルスとロサンゼルス・ドジャースへの入団会見、4年連続4度のオールスター、2023年のWBC、韓国での開幕戦など歴史的瞬間を継続的に取材してきたことを誇らしく感じます。歴史に残るような出来事を記事にできることが、仕事の大きなモチベーションです。書いた記事は、私が死んでも残る、自分が生きた証のようなものでもあると思っています。

記者は、自分の生活の多くを仕事に費やす職業で、好きでないとできないとつくづく思います。スポーツのもつ力、世の中への影響力は凄まじいもの。子どもの頃から好きだった野球に関わって、スポーツの価値を発信できることがやりがいです。紙面やインターネットに署名記事を出す中で、批判を受けたり、叩かれたりすることもありますが、様々な意見を受けて、さらに良い記事を書くために次はこうしようという考えが自然と湧いてきます。私にとっては面白くて仕方ない仕事です。

今後の目標は、大谷選手の引退まで担当記者として務めあげること。2024年3月には彼を追ってきた10余年の記録をまとめた書籍を発刊し、長年取材する記者として、等身大の大谷翔平の姿を綴ろうとしました。この先も、私しか伝えられないことを、書籍や記事という形で発信したいと考えています。

大谷翔平選手の囲み取材で質問する柳原記者（手前右）

何より大切なことは、恐れずチャレンジし、継続すること

―最後に関西学院に通う後輩へメッセージをお願いいたします。

大学の入学式で当時の平松学長が送られた、「Think globally, act locally」（地球規模で考え地域で行動する）というメッセージが今も心に残っています。どう学ぶか・行動するかが何より大事なのだと背中を押されました。今はとにかく、様々なことにチャレンジしてください。行動を起こすことと、継続することが大切です。そして卒業後は、安心して社会に飛び込んできてください。それが東京でも、海外でも恐れることはありません。社会には素晴らしい関学卒業生がたくさんいます。悩んだり困ったりした時は相談してください。一緒に頑張りましょう。

人との出会い

高等部野球部監督
広岡 正信先生

広岡先生は記憶力がすさまじく、試合展開を読む力に長けていました。さらに選手を奮起させるのが非常に上手い。先生は高校生を一人の大人として扱うので、こちらも必死に食らいつくしかないと感じていました。私にとってそんな人は初めてでした。今もお会いする時はいつも緊張してしまいます。

モノとの出会い

愛用していた野球帽

試合の時に被っていた帽子です。高等部時代から大学を経て、今も大事にとっています。小さい頃から野球に打ち込み、高等部では挫折も経験しましたが、大学で続けていて良かったと思えました。今の仕事も、これらの経験があったからこそ。この帽子には、私の野球人生の思い出が詰まっています。

場所との出会い

東京庵（トンキンアン）

体育会系の学生が集まる食堂です。練習終わりや休み時間に野球部の仲間と入り浸り、たわいもない話を繰り返していました。いつも大盛を出してくれるおばちゃんは皆のお母さんのような存在。心暖まる場所でした。関学には、こんなふうに仲間と過ごす場所がたくさんありました。

私のKG相関図

～関西学院で紡がれるそれぞれの物語～

関西学院内で築かれる絆。多種多様な人々がつながるからこそ、
思いがけない化学反応が生まれ、それぞれの物語が紡がれていきます。

Vol.1

▶ P.11へ

関西学院大学

経済学部 栗田ゼミ

経済学部
栗田 匡相
教授

栗田ゼミ
10期生の
先輩

11期生

経済学部 4年
野田 皓子さん

AMA WORLD FESを発案し、
様々な学びを与えてくれた

11期生

経済学部 4年
楊井 健太郎さん

栗田ゼミの
同期

支え合い、
切磋琢磨する

Vol.2

▶ P.13へ

関西学院初等部

田植え実習

初等部教諭
野村 真一
先生

初等部 5年
杉原 丈太郎さん

初等部 5年
藤井 千紗子さん

初等部 5年
小坂 蓮さん

初等部5年生

中西 敏彦さん
と守口門真
支部の皆さん

田植え実習に協力し、初等部生に
本物に触れる体験を与える

初等部の
豊かな学びを
支える

初等部部長
福万 広信先生

Vol.3

▶ P.15へ

関西学院短期大学

アドバイザー制度

3年次編入

関西学院大学

人間福祉学部 3年
テイラー 麻耶さん

将来を見据え、
共に編入試験に挑んだ

保育科の
同級生

保育科 1年
久安 心咲さん

保育科
立花 直樹
准教授

保育科 2年
大﨑 きらりさん

アドバイザー
クラスの
同級生

忙しい中でも、
夢を共有し励ましあえる

保育の道を
めざす仲間として、
何でも相談できる
心強い存在

保育科の
同級生

Vol.1

思考と行動を繰り返す毎日。ゼミ生同士で手を取り合い、社会課題の解決に貢献

SDGsの発信と地域活性化を目的として開催し、盛り上がりを生んだAMA WORLD FES

経済学部
栗田 匡相教授

経済学部 4年
野田 皓子さん

経済学部 4年
楊井 健太郎さん

栗田教授の研究分野を教えてください。

栗田：開発経済学・国際経済学を専門として、主に海外を対象とした研究を行っています。近年は、まちづくりや障がい者介護、防災など国内の多様な社会課題の解決に取り組む活動も始めました。

お二人が栗田教授のゼミを選んだ理由を教えてください。

楊井：祖母がユニセフのマンスリーサポーターをしていたり、小学校卒業時にランドセルを発展途上国に寄付したりするなど、幼い頃から国際問題に触れる機会があり、漠然と関心をもっていました。大学2年生の頃、マレーシアでの国際ボランティア活動に参加。生活環境のギャップを肌で感じ、開発課題について真剣に考えたいと思うようになりました。国際課題を扱うゼミの中でも栗田ゼミを選んだのは、2年次にゼミの授業を受講できるプレ演習で、本気で経済学を学び、実践にうつせる環境が整っていると感じたからです。

野田：出身地の長崎県で集中豪雨や土砂災害が多発し環境問題に関心があったこと、高校で政治経済を学んだ際に経済学に興味が湧いたことから、入学以前から大学では環境経済学を学び、将来環境問題の解決に貢献したいと考えていました。ゼミ選択時には、環境経済学を専門とした複数のゼミの説明会に参加。どのゼミにするか悩んでいた時に、栗田ゼミの説明会に偶然参加し、主体性をもつことの重要性を語る先生のお話や、ゼミの先輩の生き生きした姿に感銘を受けました。学びたいことを先輩に相談した際に、栗田ゼミでは幅広い分野を学べ、環境経済学も研究できると背中を押されたのも所属を決めた理由の1つです。

ゼミの活動について教えてください。

野田：ゼミは週に1度あり、3年生、4年生が学年ごとにゼミを行った後、2学年合同のゼミを実施します。計量経済学などの専門分野の勉強に留まらず、ゼミ生全員で同じ本を読んで意見を交換する読書会やビブリオバトル、研究の進捗報告や相談会など活動は様々です。学年を越えた交流があること、人前に出る機会や、自分の意見を伝える機会が多いのは本ゼミの特色ですね。常に自分とは異なるいろいろな視点に触れ、新たな気づきを得られます。

楊井：3年次の夏に海外でフィールドワークを行うのも栗田ゼミならではです。私たちはケニアとマダガスカルへ行きました。ヒアリングや実験を通じ、現地のビジネスや農業に関する課題について分析。調査結果はJICAやJETROの職員の方に報告しフィードバックをいただきました。現地の方には英語も伝わらず、様々な面で苦戦しましたが、現地の大学生に通訳をしてもらうなど多くの人の協力を得ながら、仲間と励まし合い、乗り越えられました。

野田：苦労を共にした同期とは一生ものの絆が築かれました。とにかく実践が重んじられているゼミで、最大の特長は、学生が実際に社会課題の解決に挑むこと。子どもの学習支援から日本酒の振興まで多岐にわたるテーマの多くのプロジェクトを進めています。活動は有志で行いますが、多くの学生が複数のプロジェクトに参加しています。

栗田：私の役割は企業や地域の方とのつながりを作り、活動のきっかけを提供すること。その後は、学生たちが自力で進めます。社会に出て経験を積むことは学生にとって有益なのはもちろん、課題を抱える現場では学生たちがもつ経済学に関する知識や技法が確かに役立ちます。実践を通じて学んでほしいことは、プロセスの大切さ。1分1秒変わる社会の中で求められるのは、今どう動くべきか、絶えず思考し行動することです。

昨年度は尼崎市でAMA WORLD FESを開催し、好評を得たとお伺いしています。

楊井：AMA WORLD FESは、尼崎市の人にSDGsに関わる様々な社会課題について知ってもらうことと、地元の魅力を再発見してもらうことを目的としたお祭りです。SDGsに関する活動を行う団体や地域の飲食店に出店いただき、大盛況のうちに終えることができました。

野田：尼崎市の地域活性化を図るプロジェクトが発端となった、活動に協力してくださった地域の方々への恩返しの気持ちも込めたイベントです。開催に際しては、ゼミ生で協力し1から準備・計画を進めました。特に印象に残っているのは、出店・協賛していただける企業を探したことです。1軒1軒足を運び、お願いに伺いました。地道で大変な取り組みでしたが、協力してくれる方が別の方を紹介してくれるなど、人の温かさに触れられた思い出でもあります。

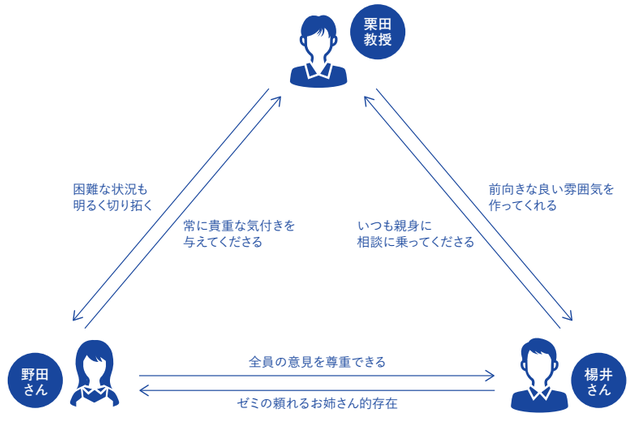
写真左から栗田教授、野田さん、楊井さん

楊井：力を注いだからこそ、イベント当日、老若男女が一堂に会し、地域の方同士の交流が生まれているのを目にした時は感動しました。

栗田：尼崎の企業の方にもお褒めの言葉をいただきましたね。元々、若者が集まるイベントをしたい意向はあったものの、うまくいかない状況にあったそうです。そのような中で大成功を収めたことに、とても感動されたようで、また開催してほしいとご要望をいただきました。

野田：現在、今年の開催に向けて準備を進めています。今年は、さらに人と人とのつながりが生まれ、深まるようなイベントにしたいです。

栗田：本イベントでも、その他の場面でも学生たちは本当によく頑張っていますね。その頑張りが実を結び、活動の場はどんどん広がっています。今年からは学生版のシンクタンクを設立。企業や行政の課題にさらに本格的にアプローチしていきます。学生時代に大切なのは、主体性をもって行動し、たくさん汗を流すこと。こうした経験を糧に自分が望む道を歩んでいってほしいと考えています。



Vol.2

田植えを通した「本物」に触れる体験で磨かれる教養と心

大地に触れ、日本の食を支える米と向き合う。同窓会守口門真支部の協力により毎年実施されている初等部の田植え実習

同窓会
守口門真支部
中西 敏彦さん

初等部教諭
野村 真一先生

初等部 5年
小坂 蓮さん

初等部 5年
杉原 丈太郎さん

初等部 5年
藤井 千紗子さん

まず、中西さんが田植え実習へのご協力を始めたきっかけや経緯をお教えください。

中西：私が関西学院後援会の会長を務めていた年に関西学院初等部が開校しました。同時期に私が所有する田んぼに第二京阪道路が接道する工事が進んでおり、効率的で安全な田植え実習ができそうだと考えました。農家は私の本業ではありませんが、同窓会の守口門真支部の活動としてもささやかな母校貢献になると思い至り、初等部に提案して実現しました。

野村：関西学院初等部が掲げる教育の柱の1つに“Authentic（本物）”があります。文化・スポーツ・芸術・自然など様々な分野の「本物」に触れることが子どもの豊かな情操を育むという考えです。田植え実習は日々目にする食べ物が農家さんによる労力の結晶であることに気付く良い機会になっていると感じます。

初等部の皆さんの田植え実習前の意気込み、また実際に参加した感想を聞かせてください。

藤井：初めての田植え体験なので、教えてくれる人の話をよく聞いてお米について詳しく知ろう、価値のある取り組みにしようという気持ちで参加しました。

杉原：自分たちがいつも苦労なく食べている作物を育ててくださっている農家さんの存在に感謝しながら、米作りの最初の工程に臨みたいと考えていました。

小坂：農家さんたちがどのような気持ちでお米を作っているのか体感できるのを楽しみにしていました。

中西：皆それぞれの熱意や興味をもって実習に参加してくれたのですね。一人たった8か所に苗を植えるだけの体験ですが、素足でヌルっとした田んぼに入り自然に直接触れる感覚は忘れられないでしょう。

藤井：実際に植えてみると、苗を土の奥までぐっとさしこむのが難しかったです。また、苗が稲になるまでにとても時間がかかることを知って、お米がありがたいものであることに気付きました。

杉原：毎日食べているお米がどのように育つのかを身をもって知る貴重な経験になりました。昨年度中西さんたちが収穫されたお米を使って作ってくださったカレーライスは絶品でした。

小坂：カレーライスは皆たくさんおかわりしていたよね。私は自分が植えた苗が、誰かに美味しく食べてもらえるよう無事に育ってほしいと期待を込めました。中西さんは毎年どのような気持ちで苗を植えていますか？

中西：元気に育ってほしいという気持ちを込めて一生懸命植えています。昨年は雨が少なくて慌てて水を足したことも。米作りの過程では大変なことがたくさんあります。

野村：苗の一部は持ち帰って学校でも育てます。ぐんぐんと背を伸ばし、やがて穂をつけ始めるのを観察することで、苗が米になるまでの時間を体感できます。

中西：単に田植えをするだけでは「楽しかった」だけで終わってしまいます。田植えの前段階の農作業を含めすべての作業工程を経て流通を通じ、ようやく食卓に並ぶという一連の流れを理解してほしい。この想いが今回参加してくれた皆さんにも伝わったようで安心しました。

野村：体験し、本物を知ることで、ものの見方が変わる。これこそが私たちのめざす教育そのものだと感じます。

関西学院初等部での生活や先生との関係などについて教えてください。

藤井：初等部にはネイティブの先生が多く、国際交流の機会も豊富なので自分の世界が広がります。他の学年とも仲が良く、元気で明るくチームワークのある人が多いですね。

小坂：初等部では異なる学年の児童が集まって1つの班になり、清掃をしたり遠足に行ったりする縦割り班活動を行っています。毎年メンバーが変わるので、学年を超えた友情が広がっていきます。

杉原：私が初等部で好きなのは朝の「心の時間」。先生たちの話を聞き、自分と向き合って気持ちを落ち着かせることで、心に留めたことをしっかり意識して1日を過ごすことができます。先生は休み時間には生徒と思いっきり遊んでくれて、いつでも親身に相談に乗ってくれます。

田植えを体験する初等部の児童と、サポートする守口門真支部の皆さん

小坂：先生たちのおかげで、授業中も活発に意見を交わす良い雰囲気が生まれています。

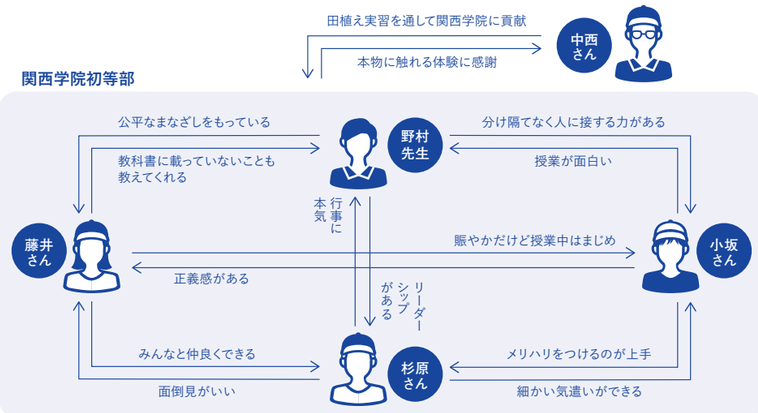
野村：初等部には話し合いが好きな子が多い印象です。意見の違いが生まれた時に育まれる合意形成力は、VUCA時代を生きる子どもたちの大きな糧となることでしょう。

中西：関西学院初等部という恵まれた教育環境を活かして、誰かの役に立ち感謝されることの喜びを感じる人になってほしいと思います。私も同窓会の支部活動を通して引き続き関西学院を応援します。本年秋には応援団総部と地域の中高生がコラボレーションする演奏会を開催予定なのでご期待ください。

関西学院大学と地域の中高生が吹奏楽を通して交流！

関学 吹奏楽フェス2024 in KADOMA

日時： 11月17日（日）13:30～（13:00開場）
会場： 門真市民文化会館 ルミエールホール 大ホール
入場料無料、詳細は後援会Webサイトや公式LINEアカウントにてご案内いたします。
主催： 関学京阪West音楽フェス実行委員会
（関西学院同窓会京阪West支部内）



Vol.3

心を通わせる丁寧なサポートが、〝ご縁〟を大切にできる人を育んでいく

一人ひとりのカレッジライフを支える「アドバイザー制度」

保育科 1年
久安 心咲さん

保育科
立花 直樹准教授

人間福祉学部 3年
テイラー 麻耶さん

保育科 2年
大﨑 きらりさん

写真左からテイラーさん、久安さん、立花准教授、大﨑さん

関西学院短期大学には各学生に担当の先生が付き、学生生活について相談できる「アドバイザー制度」があります。アドバイザーには、どのようなことを相談していますか。

久安：将来のことについて聞くことが多いです。幼稚園と保育園、どちらに行くか迷っているので、自分の考えを話して、アドバイスをいただきました。私の思いを否定することなく、いつも肯定していただけるおかげで、私の選択の背中を押してくれるような思いがして、とても安心できます。友人のこと、クラスのこと、普段のことも話せる存在です。大学の先生は近づきがたいのではないかと想像していましたが、ここではむしろ中学や高校よりも身近に感じています。

大﨑：入学当初は、友人ができるかどうか不安だったのですが、そんな相談にもしっかりと耳を傾けてくれたことを覚えています。2年生になってからは、保育現場での実習や就職について聞くことも増えたのですが、ありがたいのは、私からだけでなく先生方から声をかけてくれること。相談しやすい雰囲気をつくってくれていると感じます。

テイラー：私は、将来海外で活動する保育者になりたいという目標があったので、その実現に向けたアドバイスをいただきました。海外で活動された経験のある先生にお話を伺う機会を設けてくれたおかげで、自分の将来像を具体的にイメージできるようになりました。

立花：オフィスアワーとは異なり、アドバイザー制度の利用には、相談の内容や時間などにも、ルールを設けていません。学生と教員、都合が合えばいつでも話を聞きます。私が心がけているのは、一人ひとりの個性を大切にすること。ルールを押し付けるのではなく、その学生ならではの良さを伸ばしたいと考えています。2年間という限られた時間の価値を高められるよう、様々な体験やイベントも開催しています。いつの日か振り返ることのできる「思い出」の時間を共有してほしいという思いもありますね。

アドバイザーや仲間との関わりの中で、印象的だったことや良かったと感じることを教えてください。

久安：アドバイザー・アワーを通じて、先輩と交流できたことが、印象に残っています。保育現場での実習について先輩方の実体験を聞けたことで、自分が想像しているよりも肩の力を抜いて臨んでも良いのかな、と思えるようになりました。また、ピアノの弾き歌いでは、童謡だけでなく賛美歌も弾けると役に立つよ、といった実践的なアドバイスもありがたかったです。

大﨑：私も交流に通じるのですが、同じ目標に向かって頑張る仲間と出会えたことが一番良かったと感じています。アドバイザー制度、アドバイザー・アワーは、仲間づくりのきっかけになってくれる。些細なことも気軽に話せる仲間の存在は、私にとってとても大きく、心の支えになっています。

テイラー：私は入学する前から視野に入れていた、関西学院大学への編入について相談できたことが良かったです。1年生の頃から、学部学科選びのアドバイスをいただいたり、実際に編入された短大卒業生の方にお話を伺うこともできました。先生方が、私だけでなく、学生一人ひとりに向き合ってくれる姿勢が印象的です。

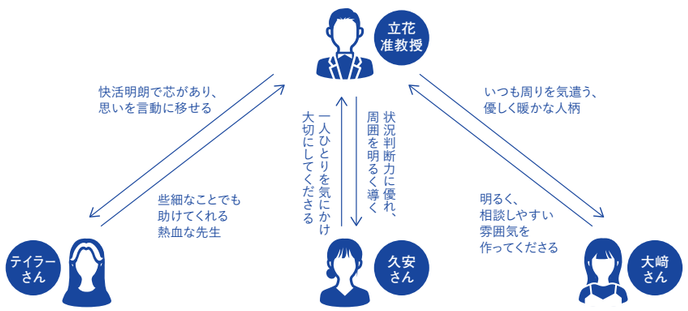
短期大学での経験を経て、将来はどのように歩んでいきたいですか。

久安：高校生の頃から医療分野にも興味があったので、将来は、病児保育に関わることを考えています。病気と闘っている子どもたちの気持ちが、少しでも前に向くような支援ができる保育士になることが目標です。

大﨑：子どもの主体性を育める環境、保護者が安心して子どもを預けられる環境など、保育を取り巻く課題について卒業研究を深めたいと思います。その先に将来を見据え、自分の就職先を見つけていきたいと考えています。

テイラー：私は目標をかなえるためのステップとして、関西学院大学人間福祉学部社会起業学科へ進学しました。ゆくゆくは海外で保育に携わる方法もありますが、近年は国内でも外国籍の子どもたちが増えており、保育の需要が見込まれます。自分の可能性と社会情勢に合わせて、進む道を考えているところです。

立花：皆さんには、一つひとつの出会い、かけがえのない“ご縁”を大切にできる人になってほしいという思いで、日々アドバイスを送っています。人と人の信頼感を生み出すのは、小さなきっかけです。共に時を過ごし、支え合い、助けが必要な時には頼って乗り越えて行けばいい。そういった経験の積み重ねが、“Mastery for Service”を社会の中で体現していく礎になっていくと思います。アドバイザー制度が、学生たちがこれから紡いでいく“ご縁”の原点になることを願っています。



研究演習（アドバイザークラス）で実施した
阪神淡路大震災追悼イベントの様子

関学生のスピリッツと
つながりを支えに
自分らしく活きる場を創造する

人を想い、場を創る
その理念を、事業にはもちろん、
社員にも貫くオカムラへ

井上　小さい頃から工作やDIYなどモノづくりが好きで、やがて建築やインテリアに興味をもつようになり、将来は空間に関わる仕事に就きたいと考えていました。オカムラを選んだのは、オフィス家具メーカーでありながら、家具販売だけではなく空間提案まで行っているところに惹かれたからです。

三好　就職活動をしていて感じたのが、メーカーには福利厚生がしっかりしている会社が多いということ。様々な業種のメーカーにエントリーしましたが、中でもオカムラは、社員の働き方への意識が高く、ワークライフバランスを大切にする環境が整っています。プライベートも安定するのではないかと思い、入社を決めました。

岡本　インテリア業界に興味があった私に、先輩が勧めてくれたのがオカムラでした。当時、オフィス家具というジャンルがあることさえ知らなかったのですが、調べるうちに、人と人とが交流し、活動する場になるオフィスづくりに携わりたいと思うようになり、志望しました。

より良いものを追求することで
得られる、喜びや出会い

三好　現在私が携わっているのは、オフィス家具の法人営業です。コロナ禍を経て、単なる“モノ売り”ではなく、モノによって企業が抱える課題を解決する“コト売り”が求められるようになりました。課題は教えてもらうものではなく、見つけるもの。ヒアリングを通して課題を抽出し、そこにアプローチできる製品を提案するコンサルティングを行い、顧客の要望に応えています。印象に残っているのは、3フロアを有する大手企業のオフィス環境を提案する4社コンペで勝ったこと。現在まさに進行中ですが、長期にわたるため思い入れも強くなりますし、クライアントとの信頼関係もできてきて、やりがいを感じます。

井上　2024年春から営業戦略部所属となりましたが、異動前はショールームで、個人のお客様への営業を行っていました。コロナ禍の影響で、多くのお客様が自宅の仕事環境を整えるために足を運んでくださりました。特に良く覚えているのは、長時間座ることになって腰が痛いというお悩みを抱えたお客様が来店された時のことです。私がおすすめした椅子

ともに働く K.G. Persons

・三好 陽介さん
オフィス環境事業部
大阪支店　営業
2018年3月社会学部卒業
入社7年目

・岡本 栄理さん
オフィス環境事業部
ワークデザイン総括部
2008年3月社会学部卒業
入社17年目

・井上 沙紀さん
オフィス環境事業部
関西支社営業戦略部
2022年3月総合政策学部卒業
入社3年目

株式会社オカムラ編

様々な企業で活躍する卒業生。
現在の仕事や在学時の思い出についてお話しいただく中で、
見えてきたのは社会に出ても続く関西学院の絆でした。

Okamoto Eri

K.G. Memories

ともに働くK.G. Persons

の機能を体感され、表情が明るくなられたのを見て、とても嬉しかったですね。現在は、オフィスビルなどの計画を担う設計事務所への提案活動に従事。建物の計画段階で家具や間仕切りを提案し、実際に採用が決まれば営業担当に引き継ぎます。スムーズに営業してもらうために、設計のお手伝いを通じて土台を整えるような仕事です。実績が形になるのは1年以上先なので、地道に頑張っていきたいと思います。

岡本　経理、営業アシスタント、秘書を経て、今はコミュニティマネージャーとして主に「共創空間」の運営を担っています。オカムラが運営する「共創空間」は、様々な人が集まって交流し、「働き方」について考え語り合う、新たなアイデアが生まれる場です。「働く」にまつわるイベントやプロジェクトを実施し、企業・大学・自治体といった様々なステークホルダーとの信頼関係を構築して、新規事業開発・物件・リクルートなどの成果につなげることが使命。関係者の多い仕事だからこそ、本音を話してもらえるよう、まずは自分がオープンコミュニケーションを実践することを心がけています。また、「共創空間」でのプロジェクトから派生し、大学で「働く」にまつわる講義を担当させていただく機会も。その講義がきっかけで入社してくれた社員が、共創空間の運営に携わりたいと志願してくれて、現在同じチームで働けていることがとても嬉しいです。

社会人としての土台をなす大学時代の学びや経験

岡本　大学時代はフットサルサークルに所属し、充実した日々を送っていました。サークルの友人とは学年を越えてフラットに話せるのが楽しく、空き時間があれば集まっていましたね。勉強面では社会学を通じて、社会を多角的に捉えることの重要性を学びました。お茶やマンガなど身近なものから世の中を見つめるユニークな授業が印象に残っています。現在のコミュニティマネージャーとしての業務においては、いろいろな観点から「働く」ことについて考えることや、多様な方々と交流することが求められます。その実践において、学生時代の経験や社会学の基礎が活かされていると感じています。

三好　私はサッカーとフットサル、2つのサークルに所属。ボールを蹴らない日はないほど力を入れていました。サッカーでは全国大会で、1、2年次に優勝、3、4年次に準優勝を経験していて、4年連続で全国大会の決勝に進んだことが自慢です（笑）。フットサルでも、仲の良い友人とチームを作って全国大会に出場し、優勝することができました。どちらも高校時代とは違い、先輩との上下関係は厳しかったので、活動を通して、社会人に求められる礼儀を身につけられたと感じています。様々な人がいるチームでうまくやっていけるように努めたり、他学年と交流したりする中で、コミュニケーション力も磨かれました。単に失礼のない振る舞いを意識するだけではなく、社内のメンバーや顧客の一人ひとりに対して、どのような対応が関係を深めることにつながるのかを考え、実践する上で役立っています。

井上　専攻の授業に加えて、建築士プログラムを履修しながら、軽音サークルにも所属していました。苦労したのは勉強とサークル活動の両立です。特に建築士プログラムの課題の提出時期と、ライブの出演枠を争うサークル内の選考会に向けた準備期間が重なった時には大変でした。乗り越えられたのは、建築士プログラムを受講しているサークルの友人と支え合えたからこそだと思っています。建築士プログラムでは、神戸三田キャンパス近くの土地に学生寮とカフェを計画する課題が出されたのですが、2025年春、その土地に学生寮、インキュベーション施設、商業施設からなる複合施設「KSC Co-Creation Village」が実際に開設されると聞いて、ぜひ行ってみたいと今からワクワクしています。建築士プログラムで得た知識は、設計事務所の方と専門的な会話をする場面で役立っています。また、同じバンドの先輩方の足を引っ張ることのないよう必死に練習したこと、大きなプレッシャーの中で選考会に臨んだことを通して、忍耐力が身につきました。現在取り組んでいる設計事務所への提案活動では断られる場合も多いのですが、気持ちを切り替え、新たに準備して挑戦することができています。

社会人になって実感する“関学愛”という財産

三好　サークルの仲間との交流は今も続いていて、たまに会い、近況を報告し合っています。

井上　軽音サークルで一緒に頑張った仲間とは仕事の話もするのですが、頑張っている様子を耳にすると、モチベーションがアップしますね。

岡本　関西から東京に異動になった私にとって財産となっているのが、東京での同窓とのつながりです。きっかけは、異動して間もない頃、仕事で出会った関学出身者の紹介で参加した、関西学院大学が卒業生を対象に開講している生涯学習プログラム「三日月塾」。全10回ほどの講座で、第一線で活躍されている同窓の先輩方の経験談を聞くことができ、講座後には食事をしながら懇親を深められます。異動になって不安だったところに、新たなコミュニティや友人をもつことができました。こうした取り組みを行っている大学は珍しいのではないでしょうか。関学出身で本当に良かったと思っています。

井上　同窓の先輩方が数多くおられることは、関西学院大学の魅力の1つですよね。関学出身者はフレンドリーでタフ、芯があり、自分の良さを活かして道を切り開いている方が多いと感じます。社外の方でも、関学出身という共通点のおかげで、すぐに打ち解けられたこともありました。

岡本　企画したイベントで講師として登壇する際に、プロフィールに関学出身と書いていると、同窓の方が必ず話しかけてくださります。

三好　関学出身というだけで仲良くしてくださるという印象です。優しくて面倒見の良い方が多いと思います。

井上　社内の同窓の先輩の一人には、いつも仕事の相談に乗っていただいています。業務で直接関わることは少ないのですが、声を掛けやすい存在で、とても心強いです。

さらなる成長や会社・社会への貢献をめざして

井上　目標は、オールマイティな人になること。いろいろな部署を経験して視野を広げ、幅広く対応する力を養いたいと思います。

三好　オカムラでの仕事を充実させ、ワークインライフを実践したいです。現在も大阪府社会人リーグでサッカーを楽しんでおり、10年後も続けていたいと考えています。

岡本　共創活動を通じて、働く人の心に灯をともしていきたいです。日本の「働く」をより良くすることに少しでも寄与できればと考えています。関学生の皆さんに伝えたいのは、“Mastery for Service”の精神や関学生であることは、社会で活躍する上での支えや強みになるということ。在学中だけではなく卒業後も、関学生とのつながりを大切にしてください。

井上　大学生活は、好きを突き詰めるも、新しいことに挑戦するも自由。私自身はコロナ禍の影響で、留学をはじめ、挑戦したくてもできなかったことが少なくありません。学生の皆さんにはぜひ、やりたいことを全部やってほしいと思います。

三好　サークル活動も勉強も大学時代ならではの経験だと思います。時間を自由に使えるという学生の強みを最大限に活かして、いろいろなことに取り組んでみてください。

Inoue Saki

K.G. Memories

Miyoshi Yosuke

K.G. Memories

Company Data

株式会社オカムラ

本社所在地

神奈川県横浜市西区北幸1丁目4番1号
天理ビル19階

従業員数

単体：3,940名（2024年3月現在）

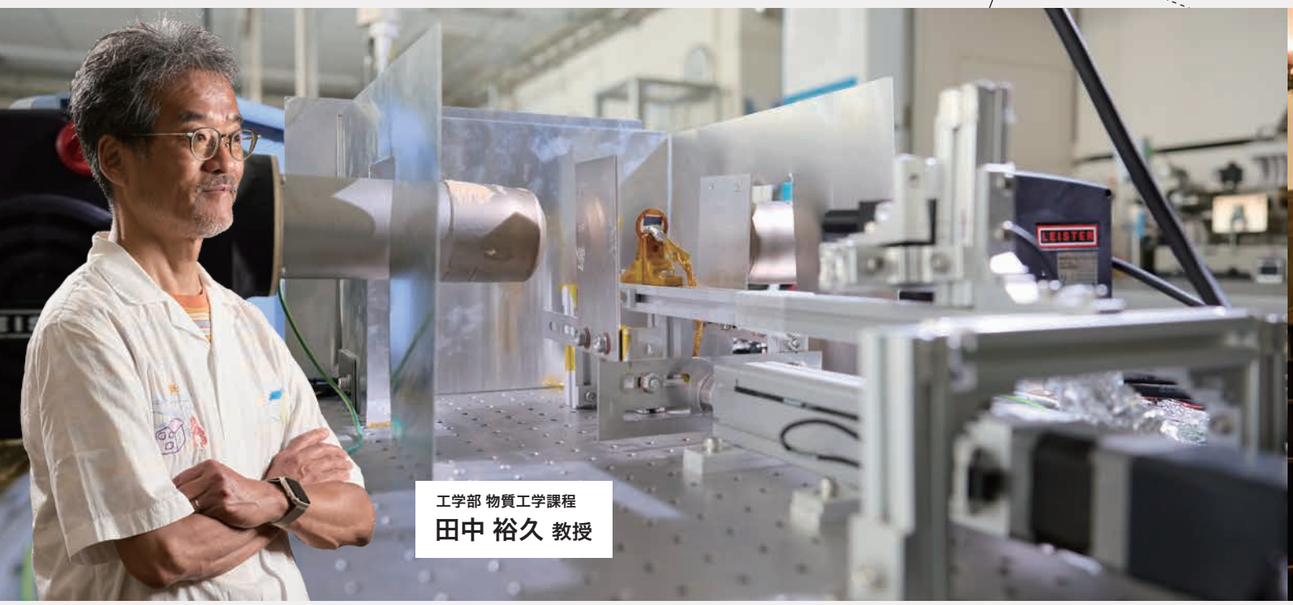
事業内容

人を想い、人が活きる場を創ることをミッションとし、オフィス環境事業、商環境事業、物流システム事業、パワートレーン事業の4つを柱に、人と社会に最適な環境づくりを展開しています。オフィス、商業施設、物流施設のほか、図書館、病院、学校など幅広いフィールドにおいて、理想の空間づくりを追求。先進的なものづくりと徹底したコンサルティングサービスにより、製品開発から空間コンセプトの立案、内装デザイン、建築・設備工事まで、空間づくりに関わるすべてのサポートを行っています。製品の機能性・デザイン性の高さも強みの1つ。グッドデザイン賞の受賞実績は業界トップクラスを誇ります。

2つの研究が交差する

KG Researchers' Eyes

1つのキーワードを軸に、それぞれ全く異なる分野の研究に取り組む教授にお話をお伺いしました。
各専門分野の視点で見えてくる、関西学院の研究の奥深さを感じてみてください。



工学部 物質工学課程
田中 裕久 教授

神学部
土井 健司 教授

今号のキーワードは

物質工学 × 平和 × 歴史神学

争いのない世界をめざし 廃熱回生発電の実用化に挑む

身のまわりの廃熱を電気に変換する新技術で化石燃料に依存しない世界を創造する

私の研究室では、「ものは人を幸せにする」という仮説のもと、その証明につながる研究開発を進めています。また100年後の地球は、美しく安全で住みやすい楽園となっていると信じて、「100年の計」という遊び心のある活動をしています。未来の生活を支える技術で、まだこの世界にないものという視点から研究テーマを見直しています。

世界では、希少資源をめぐる争いが繰り返されています。資源に依存しない技術を築く取り組みを進める中で、日本で1年間に捨てられている廃熱が、国内で作られる総電力よりも大きいことを知りました。廃熱の76%は技術的にも経済的にも活用が難しい200°C未満という低い温度です。「廃熱は資源だ」という気づきが、廃熱回生発電の研究をスタートさせた原点です。回生が難しいため捨てていた熱から、暮らしを支える電気を作る研究。希少資源への依存を減らし、その奪い合いから生じる紛争をなくすことが「世界平和」につながると信じています。

廃熱回生発電に用いるのは、特殊な結晶構造をもつセラミックス強誘電体という物質です。130°Cまで温めると結晶構造変化を起こすことが知られていましたが、この結晶構造変化を、外部からの電圧によって制御できることがわかってきました。この現象に注目したのが、私たちが挑戦している新たな発電技術の開発。研究を重ねて、室温で発電できる方法、さらに出力を高める方法を見つけました。この技術を磨いていけば、身の回りにある廃熱から電気を作って、電源が必要だったものをコンセントフリーにしたり、電池の交換を要らなくすることができます。世界中に7億人いると言われる電気のない日常生活を送る人たちにも、電気を届けることができればいいなと願っています。

"Mastery for Service"を実践し世界平和実現の一助となる存在へ

関学生は皆、普段から平和の実現に不可欠な"Mastery for Service"の精神を体得していると感じます。100年後の地球をより良い環境にするため、社会に出てもこの精神を忘れず、身の回りのことすべてに関心を持ち、自分で考えることを大切にしていってほしいです。

Profile 工学部 田中 裕久 教授

1957年大阪府生まれ。1980年、京都工芸繊維大学工芸学部卒業。メーカー勤務や世界放浪を経て、1989年よりダイハツ工業株式会社で新触媒開発に従事。1998年、東京大学大学院工学系研究科工学博士号取得(触媒化学)。2016年、関西学院大学に着任。

価値観が多様化し変動する中で 平和をいかに捉えるか

歴史の流れの中で変化するものとして現実に即して平和を考える

私の専門は2世紀から5世紀の古代キリスト教思想史。人々が歴史の流れの中でキリスト教をいかに解釈したか、その変遷を明らかにする学問です。歴史研究の観点から見れば、イエスの言葉を除いて絶対的なものがあるわけではありません。平和に関するキリストの教えは、時代・社会ごとに様々に捉えられてきました。例えば、異民族の侵入でローマ帝国が衰亡する5世紀、司教であったアウグスティヌスは「正戦論」を唱えます。蛮族が迫る中、地域の非常事態と自身の社会的責任に迫られ、ギリギリの選択肢として戦闘行為を容認しながらも、敵に対する愛と平和を説くものです。矛盾する考え方のようですが、時代・社会に応じて真剣に平和と向き合った例と言えるでしょう。大切なのは、私たちもまた時代・社会に影響されていること、それを自覚したうえで現実問題としての平和を考えることだと思います。

キリストの誕生と結びついた「人間愛」が現代に通じる平和の視点を生み出した

時代・社会により意味を変えたものとして、「フィランスロピア」すなわち「人間愛」という概念を紹介します。もとは古代ギリシアの言葉です。ただし古代ギリシアでは、その実態はお金や身分のある社会の中心の人々の同胞愛であり、貧しい人や病人など社会の周縁にいた人々は対象外でした。しかし3〜4世紀にこの概念がキリスト教と結びつき、発想の逆転が起こります。どんな立場もみな愛すべき「人間」だと解釈し直されたのです。キリストが貧しい者として生を受けたことが、周縁の人々へのまなざしを開きました。他者との関係の中で自らを定める私たちにとって、目の前の人など誰であれ自分と同じ「人間」であるということは大きな意味をもちます。それは例えば他人を助けるという考えにつながります。この時代にローマ帝国で最初の病院が創られました。「人間愛」により、社会全体の安寧という新たな平和の視点が生まれたと言えます。自分だけでなく他人も大切にするこの考え方は、価値観が多様化し変動する現代において、平和を捉えるヒントになるかもしれません。

Profile 神学部 土井 健司 教授

1962年生まれ。関西学院大学神学部、神学研究科を経て、京都大学大学院文学研究科で学ぶ。博士(文学)、博士(神学)。古代キリスト教思想史を研究し、時に現代的視点からも切り込む。著書・翻訳書多数。関西学院大学副学長として、研究推進や社会連携等を担当。

From キャリアセンター

変化の激しい現代において、理想のキャリアを実現させるためには、適切な情報収集や入念な準備が不可欠です。関西学院大学では様々なプログラムを通じ、そのサポートを行っています。ここでは就職活動の現状と共に、キャリア支援体制についてご紹介いたします。

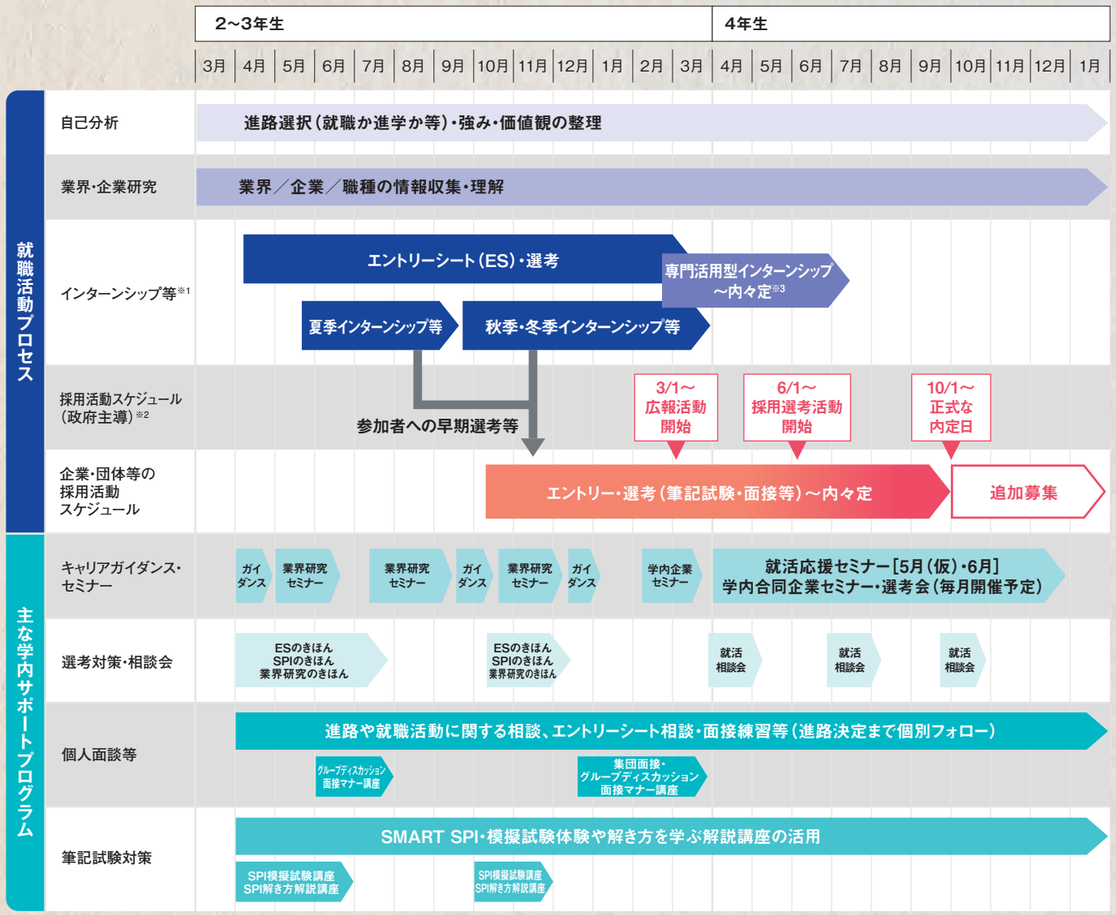
就職活動の「今」

就職活動のスケジュール

政府の指針
- 3年生の3月1日から広報活動開始／4年生の6月1日から採用選考活動開始

実　　態
- 3年生の夏ごろからインターンシップに参加（参加者を対象に早期選考を実施するケースも存在）
- 3年生の秋ごろから説明会（企業によっては年内から随時選考開始）

全ての企業が政府の指針に沿った採用活動をしている訳ではありません。多様化・複雑化した採用活動に対応できるように、しっかりと準備する必要があります。「満足度の高い就職」を実現させるためには、書類選考・筆記試験・面接試験等の本選考対策だけでなく、その前段階の「自己分析」や「業界・企業研究」が極めて重要です。キャリアセンターでは自己分析も業界・企業研究も、講座やセミナー、個人面談等でサポートしています。



※1「インターンシップ等」とは、キャリア形成支援に係る取組（4つのタイプ）を全て含んだ表現です。
※2 政府主導スケジュールによらない時期に広報活動や採用選考活動を開始する企業・団体もあります。採用情報をしっかりチェックしましょう。
※3 春休み以降に実施される「専門活用型インターンシップ」（2週間以上）に参加した場合、6月より以前に採用選考が実施されることがあります。
＊ 上記内容は2024年3月時点でのスケジュールです。

数字で見る関学生の就活（2023年度）

就職ランキング 全国1位

「2025大学ランキング」（朝日新聞出版）よりデータを独自集計
卒業生4,000人以上の大学で就職率が全国1位

就職率 99.7%
※就職率は、就職希望者のうちの就職者の割合です。

就職先への満足度 98.2%

大企業比率 63.0%
（従業員数1,000名以上）

就職活動で家族に望むサポートは何ですか？（2023年度卒業生へのアンケート）

1位	相談・話し相手になってもらう	28.0%
2位	干渉せず見守る	24.5%
3位	精神的な支え・励まし	20.1%
4位	金銭的な援助	11.0%
5位	社会人としての客観的なアドバイス	8.6%
6位	情報収集	2.8%
7位	業界・企業研究の手伝い	2.8%
8位	選考試験のアドバイス	2.3%

悪質なインターンシップや就活支援サービスに注意！

悪質な「長期/有給インターンシップ」に注意

SNSや口コミ、求人サイト等では悪質な「長期/有給インターンシップ」と称した募集（「モバイルプランナー」への勧誘等）も行われています。
研修として長時間拘束されたり、やめようとしても簡単にやめられない等、悪質な活動を行う企業・団体もあります。
このような企業・団体に関わることで、大学生活に支障が出て、友人・知人を失う等のおそれもあります。
既に複数の学生から相談を受けていますので、十分に注意が必要です。

◆ 悪質な「長期/有給インターンシップ」の特徴

- 「営業のことを学べる」「圧倒的成長につながる」「就活で無双できる」といった誘い文句で勧誘する。
- 「某大手通信キャリアの内定者の先輩を紹介する」「大手通信キャリアでのインターンシップ」等、実態と異なる説明で勧誘を受ける。
- 給与が、実態としては「完全歩合制」で契約件数に応じて支払われる。
- 友人や後輩を紹介する、あるいは友人に携帯の機種変更をさせると昇給がある。ノルマもある。
- 合宿や研修名目で長時間拘束される、あるいは深夜時間帯まで拘束される。
- やめようとすると強く慰留されたり、複雑な条件を提示されたりする。

悪質な「就活塾」に注意

SNSや口コミ、学内での勧誘活動を中心に「就活塾」の利用が広がっています。公式サイト等を通じて募集されているものや、友人からの紹介や勧誘でしか入塾できないもの等、様々な就活塾がありますが、中には入塾後に高額な料金の支払いを求められたり、内定している企業の辞退を迫られるといった、悪質なものも存在します。

◆ 悪質な「就活塾」の特徴

- 強引な勧誘があり、高額な料金が設定されている。
- 「人を見抜く力やトークスキルを養うため」という理由で、塾生の勧誘活動に参加させられる。
- 勧誘ノルマを達成できない場合に、メッセージや電話の督促が何度もくる。
- 特定の資料を閲覧するために、他の塾生の勧誘が必須条件となる。
- 「塾内の決め事を達成できない場合には内定を辞退する」といった同意書にサインさせられる。

「キャリアの関学」を支えるキャリアセンターの手厚いサポート

「ここまでやる！」関学の就職支援

キャリアセンターでは、多岐にわたるプログラムを実施していますが、「個の支援」を最も大切にしています。学生によって、動きたいと思うタイミングはそれぞれで、自分の志向や強みに気づく瞬間は様々です。一人ひとりの考え方、タイミングに寄り添う、きめ細かな支援を心掛けて全ての職員が対応に当たっています。

多彩なプログラム

以下は一例で、他にも多くのプログラムを実施しています。

就活の基礎を学べる！
キャリアガイダンス

学年やニーズに合わせて、キャリアガイダンスを年間に複数回開催しています。就職活動の基礎から、スケジュール、インターンシップ、キャリアセンターのサポート等まで丁寧に解説しています。今年4月に学部3年生向けに実施したキャリアガイダンスには、3,000名を超える学生が参加しました。

キャリア・就職についてなんでも相談できる!
個人面談

年間通じて多くの学生が利用しているNo.1サポートが、個人面談です。有資格者や人事担当経験者がキャリア・アドバイザーとして常駐しており、進路や就職活動の悩み、企業研究の方法やエントリーシートの相談等、幅広い内容に対応しています。また、オンライン面談も導入し、キャンパスに足を運ぶことなく個人面談を受けることができます。

関学生を採用したい企業に出会える！
学内企業セミナー

関学生の採用に積極的な企業・団体が参加するセミナーを開催しています。企業選択の幅を広げたり、新たな企業との出会いの場として活用することができます。毎年、数多くの学生がこのセミナーを内定獲得につなげています。

就活初心者でも安心！
就活のきほんシリーズ

自己PRや筆記試験、業界研究、就活で準備が必要な内容について、ワーク形式を中心とした講座を開催しています。参加者同士の交流を図ることで、学生一人ひとりがより多くの気づきを得ることを目的にしています。

理系学生支援も充実!
神戸三田キャンパス（KSC）におけるキャリア支援

神戸三田キャンパスでは文系・理系学生が参加可能なプログラムを数多く実施しています。
理系学生支援では、低年次から卒業後の進路を考えるための「キャリアガイダンス」、企業主催のワークショップ「BiZCLASS」、採用選考対策プログラム「技術面接対策講座」等を開催し、きめ細かなキャリア・就職支援を行っています。

未来を輝かせる“せんせい”になるために
西宮聖和キャンパス未来塾

教育・保育の現場で活躍できる力や素養を身につけるため、教育学部生を対象に「未来塾」というプログラムを実施しています。このプログラムは1年生から参加可能です。現場での最新トピック等を理解し、実際に体験したり、参加者同士でディスカッションを行ったりします。学年を超えた学びの場を提供しています。

春学期の対面イベント紹介（抜粋）

学年やニーズに合わせて様々なキャリア・就職支援を行っています。

イベント・セミナー

インターン参加に向けた業界研究セミナー

夏のインターンシップに向けて業界・企業研究をテーマに大手人気企業の人事担当者にご登壇いただきました。業界・企業の動向、仕事内容、働き方、インターンシップの応募方法や実施スケジュールについて話を聞くことで、多様な業界・企業について視野を広げ、就職活動を具体的にイメージできる貴重な機会となりました。

［参加企業］ 48社

shigoto☆trip

shigoto☆tripは、企業のオフィスや製造現場を実際に訪問し、働く社員との交流を通じて、学生が自らの将来について考えることを目的とした業界・企業・仕事研究に関する職場見学型のプログラムです。本格的な採用活動を控えた3年生だけでなく、これから自分のキャリアを考えていく低年次の学生にとっても、現場で働く社員の方々の姿や仕事内容を見学することは貴重な経験となりました。

［参加企業］ 大林組、JR西日本、監査法人トーマツ

BiZCLASS

神戸三田キャンパスでは、企業・団体を招いてのワークショップ「BiZCLASS」を開催しています。本ワークショップでは、企業側が設定する課題に対して学生が解決策や新たな商品・サービスを提案し、最後に発表内容に対するフィードバックを受けます。BiZCLASSでの学びにより、学生は、自身の研究と仕事・社会の結びつきを実感するとともに、将来のキャリア・イメージを具体化させます。

［実施企業・団体（抜粋）］アクセンチュア、イトーキ、住江織物、ソニーグループ、パナソニック、みなと銀行

インターンシップ

夏のKG枠仕事体験プログラム

（※産学協議会の分類「タイプ2」に相当）

関学生を対象に参加枠を設けていただいている仕事体験プログラムです。
企業・団体によっては、一般公募していないものや、特別に関学生対象のプログラムを実施しているものもあります。

就職活動座談会

目標をもって就職活動を行い、希望の企業の内定を獲得した先輩方に、
体験談や活動する中で見つけた就職活動のコツについてお話を伺いました。

写真左から前中さん、福田さん、岸本さん

就職活動は、自分としっかり向き合うことが大切

**いつ頃から就職活動を始めましたか？
どんなことから始めたか教えてください。**

岸本　先輩から早めに就職活動を行うようアドバイスをいただき、3年生の5月頃に始めました。夏季インターンシップの募集開始時期だったので、応募に必要なエントリーシートの作成から着手。選考がないものや1日で完結するものも含め、約15社のインターンシップに参加しました。人材業界やインフラ業界など、幅広い業界のインターンシップに参加し、様々な企業の社風や事業内容を知れたので、夏は業界や企業を絞りすぎず、多くのインターンシップに参加して良かったです。

前中　私もインターンシップの応募から就職活動を始めました。活動を始めた時期は3年生の春頃。年齢の近い関学出身の姉がおり、家族全員が就職活動に関心が高かったこともあり、早めに動き出しました。最初はやりたいことが定まっていなかったので、直感に従って、名前を知っている企業のインターンシップに応募。選考を通じて、エントリーシートの書き方や面接の受け方が研究できたと感じます。ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）は、実際に面接を受けたことでブラッシュアップできました。2つの学位の取得をめざしている話をしていたのですが、制度説明に時間を要し、強みのアピールにつなげられていないことに気づきました。自分の強みの根拠として活きるよう、話の構成を見直したところ、面接官の反応が好転。重要な発見ができたと感じました。

福田　3年生の7月に交換留学から帰国し、10月頃から少しずつ活動し始め、12月頃から本腰を入れました。開始時期が周囲と比べて遅いことに焦りもありましたが、しっかり時間を割いて自己分析を行ったことが納得のいく内定先に巡り合うための鍵になったと感じます。生まれてから現在までのことをノートに書き、その時に感じたことや考えたことを洗い出し、自分の価値観を見つめ直しました。さらに、母や友人にノートを見せ、客観的な視点で質問やコメントをもらうことで、自分では認識していなかった強みや個性にも気づけました。

岸本　私も同じように自己分析を行いました。その結果、自分の強みが行動力であることや、それを活かせるのは他者を否定しない環境であることが分かり、企業選びの軸が築けたので、この方法はこれから自己分析に取り掛かる人にすすめたいです。

前中　キャリアセンターの個人面談も自己分析に役立ちます。カウンセラーの方と一対一で話すことで、自分の強みや弱みを客観的に把握できました。豊かな社会経験を踏まえたアドバイスや、前職での経験談も聞けたのがありがたかったです。

**選考を経験してみることや、
自己分析が重要なのですね。
志望業界や企業はどのように
選びましたか？**

岸本　これまでの経験を振り返った際に、大学2年生の頃にハンディキャップのある子どもをサポートするボランティア活動に大きなやりがいを感じたことを思い出し、困難な状況にある人を支える仕事がしたいと考えました。該当する仕事は多数あるのですが、なかでも損害保険業界を第一志望としたのは、神戸市出身で幼い頃から阪神淡路大震災について学んでおり災害時の支援に関心があったからです。第一志望業界をメインに就職活動を進め、企業に関しては、インターンシップや選考などを通じて感じた社風を重視して選びました。

前中　私はなかなか志望業界が絞れず、秋以降も様々な業界のインターンシップに参加していました。秋以降のインターンシップは複数日程にわたり、課題も多いため、負担が大きいものもあります。一方で、実務に近い体験ができるのが利点で、業務に対する理解が深められ、自分の興味や適性を見極めるのに役立ちました。そのうち特に面白いと感じた総合商社やデベロッパー、コンサルティング業界を志望するように。いずれも多様な人・市場の橋渡しをする仕事であり、自分は多くのステークホルダーを調整しながら、1つの目標を達成することに関心があるのだと気づきました。

福田　業界を絞らず、留学先のスペインの大学で学んだマーケティングの知識や、語学力を活かせる企業を探しました。まず、バイリンガルを対象とした就職支援を行う企業が主催するイベントに参加。グローバル人材を採用したい企業が集まっており、本選考への案内も受けられます。いただいた選考の機会を活かして社風や企業の価値観を見定め、自分が生き生きと活動できるような自主性や個性を重んじる風土のある企業に絞って応募していました。

一人で活動せず、周囲を頼り、支え合うことが成功につながる

**選考に臨む際に、
対策として特に力を入れたことを
教えてください。**

福田　キャリアセンターで何度も模擬面接を行っていただきました。職員の方は多数いらっしゃるのですが、同じように受け答えをしても人によって反応が違ったことが印象に残っています。良い反応をもらえた時の言い回しのポイントや、いただいたアドバイスはメモを残し、見直すことで、全ての人に良い印象を与えられる話し方ができるよう改善していきました。右も左も分からないまま就職活動を始めたので、キャリアセンターの方には本当にお世話になりました。

岸本　重要だったと感じるのはOB・OG訪問です。OB・OG訪問用のアプリを活用し、お会いした方は20名以上。快く対応してくださる方ばかりで、なかにはエントリーシートの書き方の指導など、選考のサポートをしてくれた方もいました。最初は緊張しますが、相手の方に興味をもって積極的なコミュニケーションを心がけることが大切だと思います。

前中　OB・OG訪問の場では、自分のスキルや経験、入社後のビジョンを具体的に伝えることで、面接時に活きるフィードバックを得られることが多かったです。実際に働いている方のお話を聞くことで、企業の文化や詳細な業務内容について知れるため、志望理由の具体化にも役立ちました。

岸本　その他、グループディスカッションの対策には就活イベントを活用していました。難関企業を志望する学生を対象としたイベントには、レベルの高い参加者が集まっており、勉強になります。グループディスカッションを行った経験がほとんどない中、思い切って参加したので最初は苦労しましたが、回を重ねるごとに上達しました。また、筆記試験の勉強は早めにはじめ、少しずつ計画的に進めることをおすすめします。勉強せずに挑んだ夏インターンシップの選考で、複数の企業の筆記試験に落ちてしまったのは苦い思い出です（笑）。

**最後に就職活動で印象に残っている
ことを教えてください。**

前中　インターンシップの課題が非常に大変でした。複数日程にわたるインターンシップでは、グループで課題に取り組み、発表するプログラムが多いのですが、インターンシップの時間内で終わらないような量の課題が出ることがあります。本選考に直結している場合もあるため、全員が一切手を抜かず全力で取り組んでおり、時には徹夜することもありました。共に厳しい課題を乗り越えたグループメンバーとの交流は今でも続いており、いつも良い刺激をもらっています。

岸本　私も就職活動を進める中で、良い友人に巡り合えました。就職活動で出会う学生は、一般的にはライバルであるイメージをもたれるかもしれませんが、実際には就職活動を乗り越える仲間のような存在です。学校も超えて、同じ志をもった友人に出会える場は貴重で、こうした縁は就職活動を通じて得られた財産だと思います。

前中　友人が頑張る姿を見ることで、励まされた場面も多かったです。また、就職活動の支えとしては家族の存在も大きかったと感じます。両親や姉は社会人の先輩でもあるので、実践的で役立つ助言をたくさんくれました。選考が立て込む時期は、本当に忙しかったのですが、生活面でも全面的にサポートしてくれたので、集中して臨むことができたと感じます。家族の期待に応えたいという思いは原動力にもなりました。

福田　私の両親は、私が口出しされるとやる気がなくなってしまう性格であることをよく理解して、何も言わず見守ってくれたのがありがたかったです。一方で、面接の前など、話し方や内容に問題がないか確認してほしい際には、練習にも付き合ってくれました。振り返ると、家族はもちろん、友人やキャリアセンターの方など、多くの方に支えてもらったと感じます。就職活動は個人戦ではなく、団体戦。周囲の方の助けも得ながら、進めていくことが大切だと思います。

Profile

前中 優大さん
商学部4年
内定先：大手総合商社

就活の先輩としての アドバイス

**インターンシップを通じて
自分に合う企業が見極められる**

キャリアの方向性が明確でない人こそ、早めに就職活動を開始し、様々なインターンシップに参加することをおすすめします。実務に近い経験や、企業の方との交流を通じて、業界・企業理解が深まり、最適な就職先が見つけられるはずです。

福田 知佳さん
国際学部4年
内定先：大手日用品メーカー

就活の先輩としての アドバイス

**友人とエントリーシートを交換する
ことで改善点が見える**

エントリーシートの作成に苦労したのですが、友人とエントリーシートを交換して、チェックし合うことで大きく改善されました。アドバイスをもらえるのはもちろん、読む側にまわることで具体的に書くべき内容が見えてきます。

岸本 怜士さん
文学部4年
内定先：大手損害保険会社

就活の先輩としての アドバイス

**大学生活で多様な経験を積む
ことが就職活動の場で活きる**

就職活動において選考対策はもちろん大切ですが、多様な経験を積んでおくことも非常に重要です。主体的に学生生活を送ることで、自分ならではの強みが培われますし、面接の場での引き出しも増やせると思います。

KG GO GLOBAL FROM CIEC

関西学院大学では海外の大学・機関と協定締結し、様々な留学プログラムをご用意しています。外国語が得意な人も得意でない人も、ぴったりのプログラムを見つけて、「世界市民」への一歩を踏み出していただければと思います。

関西学院大学が留学に強い 5つの理由

59カ国・地域
310を超える大学・機関（※2024年3月現在）

全国No.1
協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学
協定校への派遣者数 1234名
※独立行政法人日本学生支援機構（2022年度日本人学生留学状況調査）

Europe/Africa	Asia/Oceania/Middle East	North America	Latin America	International Organizations
100	128	65	9	7

1 多様な留学先、多様なプログラム
世界中の大学や教育機関と協定を結び、英語圏はもちろん、ヨーロッパやアジア各国など様々な言語と文化を体験できる70以上のプログラムを実施。留学の難易度、期間、目的も多様で、一人ひとりのニーズにあったプログラムが見つかります。

2 奨学金制度が充実
プログラムごとに、返済不要の支給型奨学金制度を用意しています。また、急激な円安などの状況においても学生の留学を後押しするため、2024年度海外派遣プログラム参加者を対象として「緊急留学支援金」も支給しています。詳細は次頁をご参照ください。

3 原則4年*で卒業できる
学内で実施しているほとんどの留学プログラムで、単位が認定・付与されます。半年や1年間の留学の場合、留学先での学習や成果が単位として認められるので、4年間での卒業が原則可能です。
*4年で卒業する場合、学部により参加可能な留学プログラムが異なります。

4 万全のサポート体制
国際教育・協力センターが、留学を全面的にサポート。留学相談にお答えすることはもちろん、語学力向上の支援も行っています。
- 留学情報の発信
- 留学フェア（留学促進イベント）の開催
- 留学個別相談（留学アドバイザー）

5 危機管理体制の整備
プログラム参加学生には、本学指定の海外旅行傷害保険や危機管理サービスへの加入を義務づけています。これらは昨今の世界情勢を踏まえ、予期せぬ事態に備えてセーフティネットを重層化することを目的としており、事件・事故、トラブル発生の際には、本学と危機管理会社が緊密に連携・情報共有しながら対応にあたります。

情報収集

高年次になると参加できる留学プログラムの選択肢が狭まります。後悔しないよう1・2年生の早い段階で情報収集することをおすすめします。

関西学院大学には、留学期間や行先、目的が異なる様々なタイプの留学があります。少しでも留学に興味・関心がある方は、CIECまでぜひお問い合わせください。

国際教育・協力センター（CIEC）とは？
CIECでは、関西学院大学が全学に向けて提供する留学プログラムや国際交流、留学準備、英語で学べる科目や交流イベントなど、様々な情報を発信しています。「どこの情報にアクセスすれば良いか分からない」という方は、まずお手元のパソコンまたはスマートフォンからCIECのWebサイトをご覧ください。また、留学や国際交流について質問などがある場合は、お電話をいただくか、事務室までぜひお越しください。

	西宮上ケ原キャンパス	神戸三田キャンパス	Webサイト
場所	G号館1階	Ⅷ号館1階	
開室時間*	8:50-11:30／12:30-16:50	9:00-11:30／12:30-17:00	
電話番号	0798-54-6115	079-565-7625	

*土日祝は閉室しています。

留学アドバイザー
「プログラムが多すぎて選べない」「留学に参加するために何が必要？」など、学生の皆さんが抱える留学に関する様々な悩みごとを経験豊富な専門のアドバイザーが1対1の面談で解決します。CIECWebサイトトップページの「相談窓口」から相談希望日時を予約のうえ、ご利用ください。

留学先輩相談
留学を経験した『留学先輩』を紹介し、気軽に相談できる機会を提供することで、留学に関する不安や悩みを解消し、学生の留学を後押しするCIECの留学相談制度です。

LINE　Instagram　YouTube　WEBサイト

留学のための経済的支援

経済的負担を少しでも軽減し留学にチャレンジできるよう、関学では原則としてすべてのプログラムで奨学金を支給し、留学を支援しています。
※国際学部生は、国際学部留学奨励金・奨学金を支給。

プログラム名	種類・金額（支給型）
交換留学	笹森四郎奨学金、井谷憲次奨学金（2学期:100万円、1学期:50万円）
	交換留学奨学金（2学期:30万円、1学期:15万円）
短期プログラム ※学部主催プログラム含む	短期留学奨学金（アジア3万円、アジア以外5万円） ※海外の協定大学へ派遣されるプログラムのみ
	井谷憲次奨学金（アジア3万円、アジア以外5万円） ※協定派遣以外のプログラム
中期留学（1セメスター） ※学部主催プログラム含む	中期留学奨学金（一律20万円）
国連ユースボランティア	費用（渡航費、滞在費など）は国連ボランティア計画（UNV）の規定により支給
国際社会貢献活動	国際社会貢献活動奨学金（30万円）
長期留学（学部科目履修型）	長期留学奨学金（2学期:50万円、1学期:25万円）

Pick-Up 緊急留学支援金

急激な円安、インフレ、および原油高に伴う燃油サーチャージの上昇など、学生の留学を取り巻く急激な状況変化に対応することを目的とし、2024年度に実施される本学提供の海外派遣プログラム（一部を除く）に参加する全学年の学部生を対象とした、緊急の経済支援策です。返済不要かつ左記奨学金との併給が可能な支援金で短期プログラムの場合、申請者全員に、一律8万円が支給されます。2025年2～3月の春休みに実施する短期プログラムの出願時期は秋学期開始直後ですので、ぜひこの機会に留学参加をご検討ください。

詳細はこちら

学内でできる国際交流

正規留学生 約900人　交換学生 約350人　短期学生 約300人

年間約1500人もの留学生が在籍するキャンパス内で、国際交流ができます。

その他の国際交流制度はこちら

留学生と出会う -交流制度-
- 制度例

コーヒーアワー
世界各国から関学に来ている留学生とドリンクを飲みながら自由に話せるイベント。
関学生は誰でも無料で参加できます。

留学生バディ制度「KGバディーズ」
バディ学生と留学生が関学での友人となり、異文化交流を行いながら留学生の新生活や日本語学習をサポートする制度です。

留学生と学ぶ -融合科目-
キャンパス内にいながら海外の学生と共に学べる「融合科目」を多数開講しています。
- 科目例

日本語で学ぶ 多文化共修科目
留学生と共に身近なテーマについてディスカッションなどを行い、異文化理解を促進します。

英語で学ぶ 総合日本学習科目
中長期の留学を考えている方や、留学で培った英語力を維持したい方におすすめのオールイングリッシュで開講する科目です。日本について、文化・ビジネス・社会・国際関係・言語など幅広いテーマで学ぶことができます。
※受講には、英語スコアの提出と事前申込が必要です。

ホストファミリー募集中！

～留学生と暮らす新しい生活“ホストファミリー”はじめませんか？～

関西学院大学では、留学生を家族として受け入れる“ホストファミリー”を募集しています。交換学生や短期プログラムの留学生を、約3週間～1年間家族の一員として受け入れ、お世話いただくご家庭を募集しています。国際交流に興味・関心をおもちの方は二次元バーコードから詳細をご確認のうえぜひご登録ください。また、募集は本学学生のご家族に限定しておりませんので、そのような方がお知り合いにいらっしゃいましたらぜひご案内ください。

受入条件
寝具・机・椅子・収納スペース・エアコン・インターネット（Wi-Fi）が利用可能な個室の提供
平日:2食（朝・晩）、土日祝日:3食（朝・昼・晩）の食事の提供
公共交通機関で西宮上ケ原キャンパスまで通学1時間以内のご家庭 ほか

受入補助費
日額 2,300円

お問い合わせ
関西学院大学レジデンスセンター（ホームステイ担当）
TEL: 0798-54-6113　Email: homestay@kwansei.ac.jp

参加者数「TOP3」の留学プログラム

参加者が最も多い人気プログラムトップ3を、参加学生の体験談と共にご紹介します。

※2023年度プログラム参加者（2024年4月現在）

第1位 652名 外国語研修

夏休み（8〜9月）や春休み（2〜3月）を利用して、海外の協定校で英語・中国語・朝鮮語・スペイン語などの言語を2〜5週間で集中的に学習する短期の語学研修プログラムです。授業のない時期に渡航するため、クラブ活動やアルバイトなどで忙しく留学に行ける時間が限られている学生や、カリキュラム上、中長期の留学が難しい一部の理系学部や教育学部の学生などにもおすすめです。

参加学生の声 **留学先:オーストラリア／アデレード大学**

授業では語学を学ぶだけではなく、街を歩きながら歴史や文化を学ぶ機会もありました。オーストラリアのビーチは世界的に美しいことで有名なので、実際に見られたことも素晴らしい体験でした。親切な方が多かったので、恐れずに話しかけることで研修をより良いものにでき、英語力に対して自信をもてるようになりました。

第2位 260名 中期留学

海外協定校の附属機関が実施する語学の集中学習と外国での実生活を組み合わせた約1学期間のプログラムです。言語運用能力の向上はもちろんのこと、留学先での経験を通して世界市民としての感覚を身につけることができます。（英語中期留学では帰国時にはTOEFL ITP®の点数で30点から50点程度のレベルアップを目標としています。）

参加学生の声 **留学先:カナダ／マウント・アリソン大学**

現地では専属のConversation partnerが付いてくれ、交流することができます。私のConversation partnerはインド出身の優しい学生で、キャンパスで会うたびに毎回心配事がないか声を掛けてくれました。また、彼の趣味が筋トレなので、よくジムにも誘ってくれました。頻繁に交流することで、語学力が向上するのはもちろん、彼のおかげで充実した留学生活が送れました。

第3位 218名 交換留学

交換留学は、本学に在籍しながら、休学することなく協定大学へ1学期間または2学期間（1年間）留学できる制度です。協定大学の授業を受講し、専門知識や興味のある学問に関する知識を深めたり、海外の学生との交流を通して異文化理解を深めることを目的としています。TOP3のプログラムの中では最も難易度が高く、準備にも時間がかかりますが、約55か国・地域、約190校の質の高い協定校で、世界中から集まった優秀な学生と一緒に学び合える環境が整っています。

参加学生の声 **留学先:オーストラリア／マードック大学**

留学中は、学んだことを定着させられるよう、授業前後も学修し、勉強に励みました。留学先で培った自己管理能力は、帰国後の生活にも役立っています。また、クラスメイトとランチを楽しんだり、イベントに参加したりすることで異文化に触れることもできました。数多くの新鮮な出来事を体験し、経験を学びに変える能力も身についたと感じます。

「語学留学だけではない」！ 関学の様々な留学プログラム

留学と聞くと、「英語ができる人が参加するもの」、あるいは「英語を勉強するために英語圏の国に行くもの」と思われていないでしょうか。
関西学院大学では、英語に自信がない方でも参加できる「語学留学ではない」留学プログラムも多数ご用意しています。
ここでは、春休みに参加できる英語初中級者向け短期（10日間〜1か月間）のプログラムをご紹介いたします。

海外異文化体験セミナー（ハワイ）

現地の学生や人との交流を通して、異文化を理解し、異なる視点や価値観を得ることを目的とした海外初挑戦の方におすすめのプログラムです。引率者がいますので、安心してご参加いただけます。
ボランティアを通じて、実践英会話やハワイ独特の歴史や文化、アロハスピリットを学べます。
異文化交流の楽しさ、そして時には難しさを感じつつ、現在の自分の立ち位置や、将来を考える良いきっかけとなることでしょう。

海外フィールドワーク（ベトナム、マレーシア）

現地の学校や孤児院、商業施設などを訪問し、各訪問先でインタビューを行います。それらの調査を通じて、開発途上国の経済・歴史・教育・文化など、様々な視点でその国が抱える課題について考えます。約10日間の短い期間ではありますが、通訳などのサポートをしてくれる本学協定校の学生と、とても親密な関係を築けるのもこのプログラムの魅力です。また、JICA出身の教員が引率するので、海外旅行が初めてでも安心して参加いただけます。将来国際ボランティアプログラムへの参加を考える学生にも、強くおすすめしたいプログラムです。

短期海外インターンシップ（アメリカ、オーストラリア、ベトナム、マレーシア）

主に海外の日系企業で約3〜4週間、就業体験（インターンシップ）ができるプログラムです。
現地企業で活躍する日本人や現地の方々と一緒に働くことを通じて、視野を広げ、多様性を感じながら「海外で働くこと」を学びます。日本でも多国籍企業が増えている昨今、グローバルな視点をもって仕事をすることが重要となる中、このプログラムでの経験は自分の将来やキャリア設計を考える際にも役立つことと思います。また、受入先は日系企業が多く、日本人社員も周りにいらっしゃいますので、将来海外で働いてみたいけれども今はまだ語学が苦手だという学生にもおすすめのプログラムです。

グローバルPBL（タイ）

担当教員による指導のもと、少数山岳民族を含む多文化共生地域である北部タイの国境地帯を訪れます。現地学生との交流を通じて、地域課題（経済格差、生活インフラや行政サービス、教育、環境保全等）やその取り組みについて知り、PBL*アプローチによる協働学習を行います。本プログラムは上智大学が主催し、上智大学の学生と共同学習を行います。
*PBL（Project Based Learning）：
「課題解決型学習」などと訳される勉強法で、学生が自ら課題を見つけ、その課題を解決するまでの過程で様々な知識を得ていく学習方法

教えて！中道院長

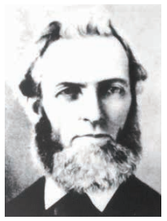
関西学院に根付く文化や価値観、キリスト教の教えについて中道基夫院長がレクチャー。院長のお話を通じて、関西学院の創始者ウォルター宣教師の経歴を知り、彼が伝えたかったことについて考えてみましょう。

今年、2024年は、関西学院の創始者であるウォルター・ラッセル・ランバス宣教師の生誕170年にあたります。ウォルター・ラッセル・ランバス宣教師について皆さんにお伝えするとともに、関西学院の建学の精神について考えたいと思います。

Column | ランバス宣教師親子との思い出

1886年、南メソジスト監督教会から派遣されたランバスファミリーは、神戸の旧居留地（現在の神戸大丸周辺）で教会を始めました。これが現在の神戸栄光教会です。私は幼少期から両親と共にこの教会に通い、大人が礼拝を守る間、子どもに開放された部屋で遊んでいました。その部屋には歴代牧師の写真が飾られており、特に優しそうなおじいさんの初代牧師ウォルター・ラッセル・ランバス宣教師と少し厳格でライオンのような第2代牧師ジェイムス・ウィリアム・ランバス宣教師の写真が印象的でした。今も院長室にはこの2人の写真があり、私の人生の60年間、彼らに見守られているように感じます。ジェイムスが父親でウォルターが息子ですが、ウォルターの写真が年を取ってからのものなので、長い間彼を父親と勘違いしていました。

初代牧師
ウォルター・ラッセル・ランバス



第2代牧師
ジェイムス・ウイリアム・ランバス

今回のテーマ

ウォルター・ラッセル・ランバス宣教師から受け継ぐもの

関西学院 院長
中道 基夫

ウォルター・ラッセル・ランバスの生涯

中国で宣教師として働いていた両親のもと、ウォルターは1854年11月10日上海で生まれました。しかし、1860年、ウォルターが5歳の時に母に連れられて妹と共にアメリカに戻ります。戻るといっても、アメリカは彼にとっては全く見知らぬ外国です。しかも5か月後には、母親は父親の宣教活動を助けるために、中国に戻ってしまいました。2年間ほど、アメリカで妹と母方の祖父母のもとで生活することになります。1861年、両親がアメリカに戻ってきたので、ふたたび家族との生活が始まりますが、妹は病気で亡くなってしまいます。そして、1864年、10歳で中国に戻ることになりました。この間、1861年から始まった南北戦争を経験します。両親との別離、生活環境の変化、異国（アメリカ）での生活、戦争、妹との死別、そしてまた中国へ戻るという経験は、いったい幼いウォルターにどのような影響を与えたのでしょうか。子ども時代の様子は伝記の数頁に淡々としか書かれていませんが、幼い心に与えた影響は計り知れないものがあったと思います。実は、このような物語は欧米の宣教師の子どもたちが共通して経験していたことでした。スイスにある宣教団体の規則では、遅くとも6歳になるまでに子どもたちは宣教地から本国に戻らなくてはならず、親戚の家や宣教団体の施設で過ごすことが一般的でありました。

1869年、ウォルターは15歳で単身アメリカに帰り、アメリカの高校を経て、ヴァンダビルト大学で神学と医学を学びます。首席で卒業した後、23歳で結婚して、宣教師として中国に戻り、キリスト教の布教と医療伝道に従事しました。中国に到着後すぐにアヘン中毒治療所を開設しています。なぜウォルターも両親たちと同じ道をめざしたのか。自分が子ども時代に経験した苦しさやさみしさをまた自分の子どもたちにも経験させることになるという運命をどうして選んだのだろうかと思います。もちろん「信仰」という言葉がその答えとして語られますが、それ以外の様々な要因については直接ウォルターやウォルターの家族から聞くことができないので、想像するしかありません。

「本当に大切なもの」を見極めることの重要性

ウォルターの経歴だけを見るならば、宣教師として父親よりも活躍する存在になります。医者としてもイギリス、アメリカで世界最新の知識や技術を学び、世界中どこにいっても医者としてその知識と能力、経験を発揮できる人物になりました。

しかし、ウォルター、そしてランバスファミリーは日本に来て、教会の設立とともに学校教育に取りかかることになります。なぜあれほど中国で心血を注いできた医療活動をやめてしまったのでしょうか。いくつかの本には「すでに神戸には近代医学の教育機関があり、医療施設も多く存在していたから」という理由が書かれていますが、私ははたしてそうだろうかと疑問に思っています。いくつかの理由があったのだろうと思いますが、今は断定できないので謎のまま置いておきます。ただ、言えることは、アヘン中毒で苦しむ中国には医療が必要であった、200年もの鎖国の後開国をした日本には教育が必要であったということです。つまり、ウォルターにとっては、その国の人にとって必要なものを提供することが重要であったと言えるのではないでしょうか。その国の人たちを束縛・抑圧するものからの解放に必要なものを提供しようとしたのです。もちろんそれは医療や教育だけではないキリスト教のメッセージでもありました。体も心も癒す全人医療、知力も体も、そして心も育む全人教育をめざしていました。

当時の日本はあらゆる西洋の文化、合理主義的な考えやそれに基づいた知識や技術を取り入れようとしていたと言われています。キリスト教宣教もその恩恵を受けたかと思いますが、ウォルターは洪水のように押し寄せてくる西洋文明を判別し、無差別に取り入れようとする日本の若者たちにとって本当に大切なものとは何かを教えようとしたのだと言えます。それは、欧米から中国になだれ込んできたアヘンから人々を救うことと似ているのではないでしょうか。

関西学院がウォルターの遺伝子を現代に受け継ぐとするならば、学校という事業形態ではなく、現代の若者たちを束縛し、抑圧するものから解放する教育、自分で考え、自分で判断できるための知識と力ではないかと思います。現代は、あらゆるものが溢れています。あらゆる情報がなだれ込んできます。あらゆるものが魅力的に見えます。あらゆることが許されています。しかし、現代の子どもたち、若者たちには、本当に大切なものは何かを見抜く力、自由に選択することの出来る力、それを伝える力を関西学院で養ってほしいと思っています。

今回のテーマのまとめ

1. **ウォルターは神学と医療を学び、中国では医療に、日本では教育に注力した**
2. **アヘン中毒で苦しむ中国、200年もの鎖国を経た日本、各国が本当に求めるものを与えようとしたのではないかと考えられる**
3. **あらゆるものに溢れる現代において、本当に大切なものを見抜き、自由に選択することが大切**

院長室からのメッセージ「風に思う」（動画）

院長室 Facebook

新月祭2024 SHINGETSUSAI

–今年の月はあなたと見たい–

完全対面開祭という悲願がかなった昨年。そして今年、月に届くほどの飛躍を。
過去に類を見ない、新月祭2024でしか彩れない月の感動を
ぜひあなたに感じてほしいという思いを今年のテーマに掲げました。
皆さまのご来場を実行委員一同、心よりお待ちしております。

神戸三田キャンパス
10/19-20
Sat Sun

西宮上ケ原キャンパス
11/2-3
Sat Sun

西宮聖和キャンパス
11/9-10
Sat Sun

Web Contents
最新情報は各種SNSでご確認ください！

Instagram　X（旧Twitter）　TikTok

MESSAGE

今年度の新月祭全体を統括します、委員長の田代漢太郎です。日々、私たちの活動にご理解、ご協力ありがとうございます。今年の新月祭実行委員会は、1000人を超える大所帯となりました。

「今年の月は、あなたと見たい」。私たちの創り出す新月祭をぜひ大切な方と一緒にその目で見届けていただきたいという願いを今年のテーマに込めました。

また、今年度は“飛躍”をモットーに新月祭、ひいては関西学院大学のさらなる発展に努めてまいります。1000人という大規模な組織、3キャンパスの統一、新月祭の長年の歴史と経験を活かし、新月祭実行委員会にしかできない学園祭を、新月祭に携わる全ての方への感謝とともにお届けいたします。皆さまの大切な時間をぜひ、新月祭にいただけないでしょうか。ご来場を心よりお待ちしております。

大学祭総部 新月祭実行委員会
委員長 田代 漢太郎（文学部 3年）

全キャンパス統一企画

新月祭×祇園 オリジナル企画
3年連続全国の学園祭に最も呼ばれた芸人、学園祭KING「祇園」と新月祭が全面コラボ!!!
ここでしかみられない企画が盛りだくさんです！

神戸三田キャンパス

1 ●三田イベント
ミニゲームや、男の子も女の子も楽しめる工作を実施します。
正門横には大きなふわふわパークを設営します。
日時 10月19日（土）11:30～17:00 10月20日（日）11:30～16:00

2 ●三田お笑い
お笑い芸人さんをお招きし、無料ライブを実施します。
誰でも大歓迎。ぜひ神戸三田に「笑い」にお越しください。
日時 10月19日（土）14:30～15:30

3 ●三田トークショー
イケメン俳優さんをお呼びし、トークショーや様々な企画を行います。
日時 10月20日（日）13:00～14:00

MESSAGE

今年度、神戸三田キャンパスの代表を務める藤岡祐希です。今年度は完全対面の新月祭が復活して2年目ということで、一度は途絶えかけた新月祭を次の世代へつなげていく大切な1年となります。そのためにも、より皆さまに楽しんでいただける新月祭を創りあげていきます。また、学校関係者の方や地域の方など、日頃よりご協力いただいている全ての方々とのつながりをさらに強固なものとし、引き継いでいきます。さらに進化した新月祭へご招待できるよう、努力してまいりますので、ぜひ大切なご家族やご友人などをお誘い合わせの上、新月祭へお越しください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

大学祭総部
新月祭実行委員会
副委員長・三田代表
藤岡 祐希
（工学部 3年）

◀ 段ボール迷路

西宮上ケ原キャンパス

1 ●上ケ原イベント
全70店舗の頂点を決める、模擬店グランプリを開催。
投票していただいた方には豪華プレゼントをご用意しております。
準決勝 11月2日（土）12:30～17:30 11月3日（日）10:30～13:00
決勝 11月3日（日）15:15～16:00

2 ●上ケ原イルミネーション
新月祭に月の彩りを、イルミネーションで表現します。光るメッセージカードを用意していますので、ご来場の皆さま全員で上ケ原に月の光を灯しましょう。
日時 11月3日（日）18:00～20:00

3 ●上ケ原トークショー
イケメン俳優、三浦翔平さんをお呼びし、トークショーや様々な企画を行います。
日時 11月3日（日）14:00～15:00（予定）

4 ●上ケ原ライブ
テレビアニメ「NARUTO-ナルト-」の主題歌も手掛けるロックバンドFLOWさんをお招きし、中央芝生で5000人規模の野外ライブを実施します！
日時 11月3日（日）15:00～16:00（予定）

MESSAGE

皆さんこんにちは。上ケ原キャンパスの代表を務める長田恭弥です。今年の上ケ原学祭は来場者参加型のイルミネーション企画や、中央芝生を来場者で埋め尽くすことを目標にしたライブ企画、部活・サークルの活気を直接感じられるパフォーマンス・模擬店など様々な進化を遂げています。上ケ原キャンパスを盛り上がりと笑顔の渦で包み込みます。

全ての人への感謝の気持ちを込めて、実行委員全員でパワーアップした学祭を創ることで皆さまに恩返しをさせていただきたいと考えております。歴代最高の新月祭にぜひ足を運んでいただきたいです。実行委員一同お待ちしております。

大学祭総部
新月祭実行委員会
副委員長・上ケ原代表
長田 恭弥
（経済学部 3年）

◀ イルミネーション

西宮聖和キャンパス

1 ●聖和あそび
「世界のお祭り」をテーマに、世界中の祭りをオマージュし、縁日を開催します！運動場には大きなふわふわパークを設営します！
日時 11月9日（土）12:40～16:45 11月10日（日）10:00～16:45

2 ●聖和お笑い
お笑い芸人さんをお招きし、無料ライブを実施します。
誰でも大歓迎。ぜひ西宮聖和に「笑い」にお越しください。
日時 11月10日（日）14:00～15:00

3 ●聖和フェスタ
地域の方々の参加型ステージ企画を実施します。
子どもに大人気絵本シリーズ「ノンタン」も登場します！
日時 11月10日（日）13:00～16:00

MESSAGE

今年度、聖和キャンパスの代表を務める西山有鼓です。今年度の聖和学祭においては、お笑い芸人によるお笑いショー、世界のお祭りをモチーフにした縁日、地域の方のパフォーマンスによるステージショーなどを企画しています。また、有志学生団体による一般企画、模擬店企画を行います。聖和キャンパスにおける新月祭では、関学生だけでなく、多くの地域の方や、近隣の子どもたちにもご来場いただき、楽しんでいただくことをめざしています。老若男女問わずたくさんの方の笑顔で聖和キャンパスを埋め尽くします！

大学祭総部
新月祭実行委員会
副委員長・聖和代表
西山 有鼓
（教育学部 3年）

◀ チョークアート

たのしい！うれしい！なつかしい！ご家族と母校で過ごすとっておきの1日。

関西学院 ホームカミングデー in 西宮上ケ原キャンパス

Homecoming Day 2024

事前予約不要

11/24日
10:00▸16:00

保護者の皆さまへ

関西学院ホームカミングデーは、同窓の方はもちろん、後援会員である保護者の皆さまも含めたKGファミリーがキャンパスに集うイベントです。後援会では、「保護者の立場から後援をなす」という会の目的のもと、このイベントをバックアップしています。
右記のプログラムのほか、学生・教職員による関西学院の学びを体験できるプログラムなども開催予定です。ぜひ気軽にお越しいただき、関西学院が誇るキャンパスの美しさや歴史をご体感ください。また、ホームカミングデー開催期間中にアンケートにご回答いただいた方限定で、様々な関学グッズをプレゼントいたします。皆さまの声をお聞かせください。この日が皆さまにとって良い思い出になることを願っています。

Program

総合受付
9：30〜15：30　西宮上ケ原キャンパス正門付近
当日パンフレットの他、来場者記念グッズが配布されます。

ホームカミング礼拝
10：00〜10：45　中央講堂

覇業交歓
11：05〜12：40　中央講堂
今年、覇業をとげた体育会各選手の表彰式！

吹奏楽部コンサート・グリークラブ新月会コンサート
14：00〜15：30　中央講堂

その他、大人気のビッグプレイランドやクラブ体験、消しゴムはんこも予定しております。予定は変更される可能性がありますので、WebサイトやSNSにてご確認ください。

イベント PICK UP!

【震災復興応援企画】出張輪島朝市
12：00〜16：00　関西学院会館

能登の伝統工芸品や、物産展が集結！

ブランドサイト「Mastery for Service」の登壇者によるトークイベント

イベント内容の詳細については随時、「Mastery for Service」Webサイトにてご案内いたします。

MASTERY FOR SERVICE
卒業生の言葉が綴ぐ、関西学院の精神

ホッと一息 Break Time

キッチンカー
キッチンカーが集結！
おいしいメニューが盛りだくさん！

10：00〜15：00
プラザ（体育館横）・図書館周辺

レストランポプラ
ホームカミングデー当日の
お食事やご休憩にいかがでしょうか。

11：00〜18：00
関西学院会館 レストランポプラ

ランチタイム	11：00〜14：00
ティータイム	14：00〜18：00（17：00 L.O）

レストランお問い合わせ TEL：0798-54-1188（直通）
※営業時間が変更となる可能性があります。

詳細はWebサイト・SNSをチェック！

ホームカミングデー特設Webサイト　Instagram　Facebook

ホームカミングデーお問い合わせ

（主催）関西学院同窓会
MAIL：dousoukai@kwangaku.net
TEL：0798-51-3604
〒662-8501 西宮市上ケ原一番町1-155

（主催）関西学院総務部校友課
TEL：0798-54-6010
（後援）関西学院後援会

西宮上ケ原キャンパスには駐車場はございませんので、公共交通機関（電車・バス等）をご利用ください。

後援会報告

2024年度 関西学院後援会代議員会記録

第1部　議長：加地 正和 会長　　司会：河野 淳 副会長

Ⅰ 2023年度 事業報告に関する件

柴沼庶務常務役員より、2023年度後援会事業（P. 40参照）に基づく報告があり、これを承認。

Ⅱ 2023年度 会計報告および会計監査に関する件

金丸会計常務役員から2023年度後援会決算書（P. 41参照）に基づく会計報告。続いて、藤沢会計監査常務役員の監査報告があり、これを承認。

Ⅲ 2024年度 新幹事選出に関する件

選出方法について議長に一任され、河野副会長より新幹事候補者名が発表され、これを承認。

Ⅳ 2024年度 新常務役員選出に関する件

幹事の中から新常務役員の選出を行い、これを承認。

Ⅴ 2024年度 新常務役員紹介

河野副会長より、幹事会で選出された新常務役員の紹介があった。新常務役員を代表して江田新会長より挨拶。

〈以降の議題は後援会規約第6条により江田 政亮 新会長が議長を務めた〉

Ⅵ 2024年度事業に関する件

青山庶務常務役員から2024年度後援会事業計画（P. 40参照）に基づく説明があり、これを承認。

Ⅶ 2024年度予算に関する件

豊田会計常務役員から2024年度後援会事業予算（P. 42参照）に基づく説明があり、これを承認。

Ⅷ 後援会規約改正に関する件

青山庶務常務役員から聖和短期大学が関西学院短期大学に名称を変更したことに伴う規約改正に関する説明があり、これを承認。

第2部　司会：永井 康晴 副会長

来賓代表ご挨拶

村上 一平 理事長

学事報告

関西学院大学、関西学院短期大学、関西学院高等部、関西学院中学部、関西学院初等部、関西学院千里国際中等部・高等部

感謝状贈呈

中道院長より、今回常務役員を退任された、加地 正和氏、金丸 康治氏、藤沢 利恵氏、柴沼 剛氏に感謝のプラークおよび記念品を贈呈。加地前会長より退任の挨拶。

第3部　司会：永井 康晴 副会長

ご来賓紹介

弓山 大輔 総務部部長

食前祈祷

打樋 啓史 宗教総主事

乾杯

中道 基夫 院長

会食・懇談

校歌「空の翼」

協力：関西学院大学応援団総部

閉会の辞

主な後援会事業

事業

- 新入生父母歓迎記念事業
  - 新入生父母歓迎記念品作製
  - 新入生父母歓迎プログラム
  - Let's go to the Stadium
- 卒業生父母記念事業記念品作製
- 「後援会通信」発行
- 後援会Webサイト運営
- 後援会表彰
- 就職・留学ガイダンス（大学保証人向け）
- 後援会奨学金
- 保護者交流会開催

援助

- 大学教育懇談会援助
- 学生・生徒・児童の活動・行事援助
- 国際交流振興援助
- 教育研究活動援助
- 就職活動援助
- 成績表郵送費援助
- 海外受入派遣活動援助
- 広報活動援助
- 奨学援助
- 学生教育研究災害傷害保険援助
- 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール援助

代議員会

感謝状贈呈

関西学院後援会規約

第1条 名称及び目的
本会は関西学院後援会と称し、学院の教育目的達成のため保護者の立場から後援をなすをもって目的とする。

第2条 会員
関西学院大学各学部及び関西学院短期大学・関西学院高等部・関西学院中学部・関西学院初等部・千里国際中等部高等部の学生・生徒・児童等の保護者をもって会員とする。

第3条 代議員
本会に代議員を置く。
代議員　若干名　各部からそれぞれ会員50名に対し1名の割合をもって推薦し、会員の同意を得る。

第4条 役員
本会に次の役員を置く。
1. 幹事　若干名
　代議員の中から代議員会において選出する。
2. 常務役員
　会長　1名、副会長　2名、会計　1名、
　会計監査　2名、庶務　若干名
　幹事会において互選する。
3. 相談役　若干名
　幹事会において委嘱することができる。

第5条 代議員及び役員の任期
代議員及び役員の任期を次のごとく定める。
1. 代議員及び幹事の任期はその子女の在学期間とする。
2. 常務役員の任期は1年とする。ただし、再選を妨げない。
3. 相談役の任期は特に定めない。

第6条 役員の職務
会長は本会を代表し会務を統理し代議員会及び幹事会の議長となる。
副会長は会長を補佐し会長支障あるときはこれを代理する。
幹事は幹事会を組織し会長、副会長と協力し重要なる事項を審議する。

第7条 事業
本会の事業は第1条の目的達成のため幹事会において協議し、代議員会で決定する。

第8条 総会
本会の総会は、代議員会をもってこれに代える。
［代議員会］
毎年6月定期にこれを開き事業及び会計の報告をするほか、会長が特に必要と認めたときは臨時にこれを開くことがある。

第9条 役員会
本会の役員会は次のとおりとする。
1. 常務役員会
　必要に応じ会長がこれを招集する。
2. 幹事会
　必要に応じ会長がこれを招集する。

第10条 会計
1. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終るものとする。
2. 会費は幹事会において決定し、代議員会の承認を経るものとする。

第11条 事務局
本会の事務局は関西学院総務部校友課が担う。

第12条 卒業生家族の会
本会のもとに「関西学院後援会卒業生家族の会」を置く。その規約は別に定める。

第13条 本会の事務進捗のため幹事会において協議のうえ、細則を設けることができる。

第14条 本会規約の改正を要するときは幹事会において決議し代議員会の承認を経るものとする。
［細則］
1. 会費は保護者から直接関西学院後援会へ払込むものとする。
2. 会費の使用については関西学院当局と協議のうえ、幹事会において定める。

1973年6月23日改正
～略～
2017年6月17日改正
2021年6月19日改正
2024年6月30日改正

2023年度 後援会事業報告

開催日	2023年度 実施事業	
4月　1日（土）	・大学入学式 ①13:00　総・教・国・理・工・生・建	
3日（月）	②9:00　神・社・法・人　③13:00　文・経・商	
4月　3日（月）	・「後援会通信」第64号発行	
4月15日（土） 4月16日（日）	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 硬式野球部 対 関西大学	於:阪神甲子園球場
4月21日（金）	・第1回 常務役員会	於:大阪市内
4月22日（土）	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 アメリカンフットボール部 対 日本大学	於:神戸市立王子スタジアム
4月23日（日）	・父母歓迎「Kwansei Gakuin Welcome Concert」 吹奏楽部コンサート	於:中央講堂（125周年記念講堂）
6月　3日（土）	・関西学院大学 東海地区教育懇談会	於:ヒルトン名古屋
6月10日（土）	・関西学院大学 宮崎県保護者交流会	於:ニューウェルシティ宮崎
6月17日（土）	・関西学院大学 東北地区（青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島県）保護者交流会	於:仙台国際ホテル
6月24日（土）	・第2回 常務役員会 ・第1回 幹事会 ・2023年度代議員会	於:宝塚ホテル
7月　8日（土）	・関西学院大学 熊本県保護者交流会	於:ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
7月14日（金）	・第3回 常務役員会	於:大阪市内
7月22日（土）	・関西学院大学 北海道保護者交流会	於:札幌グランドホテル
7月29日（土）	・関西学院大学 徳島県・兵庫県淡路島地区保護者交流会	於:JRホテルクレメント徳島
8月　5日（土）	・関西学院大学 静岡県保護者交流会	於:グランディエール ブケ トーカイ
8月26日（土）	・関西学院大学 山陰地区（島根・鳥取県）保護者交流会	於:サンラポーむらくも
9月　2日（土）	・関西学院大学 教育懇談会	於:西宮上ケ原キャンパス
9月16日（土）	・関西学院大学 三重県保護者交流会	於:プラザ洞津
9月24日（日）	・聖和短期大学 教育懇談会	於:西宮聖和キャンパス
9月30日（土）	・関西学院大学 教育懇談会	於:神戸三田キャンパス
10月　2日（月）	・「後援会通信」第65号発行	
10月14日（土）	・第4回 常務役員会 ・第2回 幹事会	於:関西学院会館
10月21日（土）	・関西学院大学 関東・東北・甲信越地区教育懇談会	於:ステーションコンファレンス東京
10月28日（土）	・関西学院大学 滋賀県保護者交流会	於:クサツエストピアホテル
11月　4日（土）	・関西学院大学 長野県保護者交流会	於:ホテルブエナビスタ
11月11日（土）	・関西学院大学 四国地区教育懇談会	於:ANAクラウンプラザホテル松山
11月19日（日）	・ホームカミングデー	於:西宮上ケ原キャンパス
11月19日（日）	・就職・留学ガイダンス	於:6号館101教室（西宮上ケ原キャンパス）
11月24日（金）	・第5回 常務役員会	於:大阪市内
12月　2日（土）	・関西学院大学 鹿児島県保護者交流会	於:城山ホテル鹿児島
12月16日（土）	・関西学院大学 北関東地区（栃木・群馬県）保護者交流会	於:ライトキューブ宇都宮
12月19日（火）	・関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール （学院・後援会・同窓会共催）	於:ザ・シンフォニーホール
2024年		
1月　9日（火）	・後援会表彰 高等部	於:関西学院高中部礼拝堂
1月20日（土）	・第6回 常務役員会	於:関西学院会館
2月17日（土）	・聖和短期大学 地区別教育懇談会	於:大阪新阪急ホテル
2月19日（月）	・後援会表彰 初等部	於:初等部ベーツチャペル
3月　1日（金）	・後援会表彰 千里国際中等部・高等部	於:千里国際キャンパス
3月　2日（土）	・後援会表彰 関西学院大学	於:中央講堂（125周年記念講堂）
3月14日（木）	・後援会表彰 中学部	於:関西学院高中部礼拝堂
3月16日（土）	・父母歓迎「Kwansei Gakuin Welcome Concert」 吹奏楽部熊本コンサート	於:熊本県立劇場コンサートホール
3月30日（土）	・第7回 常務役員会 ・第3回 幹事会	於:関西学院会館

2024年度 後援会事業計画

開催日	2024年度 実施事業	
4月　1日（月）	・大学入学式 ①10:30　総・理・工・生・建　②13:00　神・経・人・教・国	
2日（火）	③10:30　社・法　④13:00　文・商	
4月　1日（月）	・「後援会通信」第66号発行	
4月14日（日）	・父母歓迎「Kwansei Gakuin Welcome Concert」 於:中央講堂（125周年記念講堂） 吹奏楽部コンサート	
4月19日（金）	・第1回 常務役員会	於:大阪梅田キャンパス
4月20日（土）	・関西学院短期大学 教育懇談会	於:西宮聖和キャンパス
4月20日（土）	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 アメリカンフットボール部 対 慶應義塾大学	於:神戸市立王子スタジアム
5月11日（土）	・関西学院大学 沖縄県保護者交流会	於:沖縄ハーバービューホテル
5月11日（土） 12日（日）	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 硬式野球部 対 関西大学	於:阪神甲子園球場
6月　1日（土）	・関西学院大学 北陸地区教育懇談会	於:ANAクラウンプラザホテル金沢
6月　8日（土）	・関西学院大学 長崎県保護者交流会	於:ホテルニュー長崎
6月15日（土）	・関西学院大学 高知県保護者交流会	於:OMO7高知 by星野リゾート
6月22日（土）	・関西学院大学 九州・沖縄地区教育懇談会	於:ソラリア西鉄ホテル
6月30日（日）	・第2回 常務役員会 ・第1回 幹事会 ・2024年度代議員会	於:神戸ポートピアホテル
7月　6日（土）	・関西学院大学 福井県保護者交流会	於:ザ・グランユアーズフクイ
7月12日（金）	・第3回 常務役員会	於:大阪市内
7月13日（土）	・関西学院大学 中国地区教育懇談会	於:ホテルグランヴィア岡山
7月27日（土）	・関西学院大学 山口県保護者交流会	於:山口グランドホテル
8月10日（土） 11日（日）	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 第71回よさこい祭り	於:高知市内
8月31日（土）	・関西学院大学 北関東地区（群馬・栃木県）保護者交流会	於:ホテルメトロポリタン高崎
9月　7日（土）	・関西学院大学 教育懇談会	於:神戸三田キャンパス
9月14日（土）	・関西学院大学 和歌山県保護者交流会	於:ホテルグランヴィア和歌山
9月22日（日）	・関西学院短期大学 地区別教育懇談会	於:神戸市内
9月28日（土）	・関西学院大学 山陰地区（鳥取・島根県）保護者交流会	於:ANAクラウンプラザホテル米子
10月　1日（火）	・「後援会通信」第67号発行	
10月　5日（土）	・関西学院大学 教育懇談会	於:西宮上ケ原キャンパス
10月26日（土）	・第4回 常務役員会 ・第2回 幹事会	於:関西学院会館
11月　9日（土）	・関西学院大学 新潟県保護者交流会	於:ANAクラウンプラザホテル新潟
11月15日（金）	・第5回 常務役員会	於:大阪梅田キャンパス
11月24日（日）	・ホームカミングデー	於:西宮上ケ原キャンパス
12月　7日（土）	・関西学院大学 富山県保護者交流会	於:オークスカナルパークホテル富山
12月19日（木）	・関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール （学院・後援会・同窓会共催）	於:ザ・シンフォニーホール
12月21日（土）	・関西学院大学 大分県保護者交流会	於:レンブラントホテル大分
2025年		
1月24日（金）	・第6回 常務役員会	於:大阪梅田キャンパス
3月　1日（土）	・後援会表彰 関西学院大学	於:中央講堂（125周年記念講堂）
3月29日（土）	・第7回 常務役員会 ・第3回 幹事会	於:関西学院会館
秋頃	・就職・留学ガイダンス	於:未定
2、3月（未定）	・後援会表彰　関西学院短期大学、関西学院高等部 関西学院中学部、関西学院初等部 関西学院千里国際中等部・高等部	於:未定

後援会報告

2023年度 関西学院後援会　決算書

（2023年4月1日〜 2024年3月31日）

（単位：円）

収入の部	予算額	決算額
会費収入（人数は決算人数）	152,166,000	151,448,000
関西学院大学　23,541名分　@6,000円	141,936,000	141,245,000
聖和短期大学　236名分　@6,000円	1,440,000	1,416,000
関西学院高等部　1,148名分　@3,000円	3,468,000	3,443,000
関西学院中学部　721名分　@3,000円	2,160,000	2,163,000
関西学院初等部　540名分　@3,000円	1,620,000	1,620,000
関西学院千里国際高等部　283名分　@3,000円	852,000	848,000
関西学院千里国際中等部　209名分　@3,000円	615,000	626,000
前期末未収入金収入	0	3,000
卒業生家族の会　28名分　@3,000円	75,000	84,000
関西学院積立金取崩	0	0
前年度繰越金	43,634,896	43,634,896
合　計	195,800,896	195,082,896

（単位：円）

支出の部	予算額	決算額
事業費	170,100,000	149,567,502
教育懇談会、交流会	27,500,000	26,641,575
学生・生徒の活動・行事援助	18,900,000	16,355,200
援助（課外活動）	9,000,000	8,196,200
援助（各部学祭・文化祭）	5,500,000	5,000,000
援助（その他）	4,400,000	3,159,000
国際交流振興援助費	2,500,000	1,250,000
教育研究活動援助	2,000,000	910,536
就職活動援助	3,000,000	1,908,325
海外受入派遣活動援助（大学）	7,000,000	2,220,376
後援会表彰	9,000,000	9,157,243
広報活動援助費	2,000,000	1,000,000
奨学援助	19,300,000	15,202,000
学災保援助費	5,900,000	5,800,000
卒業記念品作製料	9,000,000	7,900,000
入学記念品作製料	13,000,000	11,867,900
新入会員歓迎企画	5,000,000	4,677,143
クリスマス援助費	3,000,000	3,000,000
代議員会	8,000,000	7,486,658
郵送費（成績・通信等）	2,000,000	2,000,000
後援会通信	30,500,000	30,649,226
校歌CD制作費	0	0
後援会HP運営費	2,500,000	1,541,320
幹事会・常務役員会	3,500,000	2,801,800
積立金	10,000,000	10,000,000
事務費	1,000,000	406,653
予備費	11,200,896	248,170
合　計	195,800,896	163,024,125

2023年度　関西学院後援会財産目録

（2024年3月31日現在）
（単位：円）

経常会計　次年度繰越金	32,058,771円
特別会計（積立金）繰越金（関西学院財務部預り金）	80,005,958円
（内訳）積立金	70,005,294円
預金利息	664円
積立金組入額	10,000,000円

特別会計　決算書

（2023.4.1 〜 2024.3.31）
（単位：円）

収　入	金　額	支　出	金　額
運用収入	664	支出	0
組入額	10,000,000		
期首残高	70,005,294	期末残高	80,005,958
合　計	80,005,958	合　計	80,005,958

2024年度 関西学院後援会予算

（2024年4月1日〜 2025年3月31日）

（単位：円）

収入の部	24年度予算額	23年度決算額
会費収入	158,373,000	151,448,000
関西学院大学　24,700名分　@6,000円	148,200,000	141,245,000
関西学院短期大学　236名分　@6,000円	1,416,000	1,416,000
関西学院高等部　1,144名分　@3,000円	3,432,000	3,443,000
関西学院中学部　727名分　@3,000円	2,181,000	2,163,000
関西学院初等部　542名分　@3,000円	1,626,000	1,620,000
千里国際高等部　283名分　@3,000円	849,000	848,000
千里国際中等部　198名分　@3,000円	594,000	626,000
前期末未収入金収入	0	3,000
卒業生家族の会　25名分　@3,000円	75,000	84,000
積立金取崩	0	0
前年度繰越金	32,058,771	43,634,896
合　計	190,431,771	195,082,896

（単位：円）

支出の部	24年度予算額	23年度決算額
事業費	165,100,000	149,567,502
教育懇談会、交流会	27,000,000	26,641,575
学生・生徒の活動・行事援助	21,900,000	16,355,200
援助（課外活動）	9,000,000	8,196,200
援助（各部学祭・文化祭）	5,500,000	5,000,000
援助（その他）	7,400,000	3,159,000
国際交流振興援助費	2,500,000	1,250,000
教育研究活動援助	2,000,000	910,536
就職活動援助	3,000,000	1,908,325
海外受入派遣活動援助（大学）	5,500,000	2,220,376
後援会表彰	10,000,000	9,157,243
広報活動援助費	2,000,000	1,000,000
奨学援助	19,300,000	15,202,000
学災保援助費	5,900,000	5,800,000
卒業記念品作製料	10,000,000	7,900,000
入学記念品作製料	13,500,000	11,867,900
新入会員歓迎企画	5,000,000	4,677,143
クリスマス援助費	3,000,000	3,000,000
代議員会	8,500,000	7,486,658
郵送費（成績）	0	2,000,000
後援会通信	23,500,000	30,649,226
後援会HP運営費	2,500,000	1,541,320
幹事会・常務役員会	3,500,000	2,801,800
積立金	10,000,000	10,000,000
事務費	1,000,000	406,653
予備費	10,831,771	248,170
次年度繰越金	0	32,058,771
合　計	190,431,771	195,082,896

2024年度予算会費収入は、2024年4月3日現在の学生・生徒・児童数×2023年度予算時・決算時の学生員数の差異等から算出

2024年度 関西学院後援会 常務役員、幹事および代議員一覧

常務役員
[会長]
江田 政亮
[副会長]
河野 淳
永井 康晴
[会計]
豊田 正明
[会計監査]
玉田 明人
酒井 米三
[庶務]
青山 まゆみ
水上 寿美
福岡 孝史
辰馬 美穂
小野 幸彦
沖 敏男
河村 達也
川口 洋
長手 陵子
千原 朋広

幹　事
[神学部]
碓井 智
後藤 真
古澤 百代
戸田 奈都子
[文学部]
見城 武志
小林 聖乃
岡本 光一
白石 徹
梅本 誠
足立 博史
尾崎 八寿子
田邊 晃久
杉原 秀一郎
弘中 達也
寺前 清和
前田 忠嗣
石本 明久
後藤 英雄
五木田 喜己
岡村 遍導
廣谷 正次
土井 秀夫
後 昌樹
後藤 圭吾
久保田 武之
平田 真理
福田 陽介
西 英明
高安 慎一
[社会学部]
中作 昌代
坂口 志保
西本 直司
大島 由里子
下里 由香里
川畑 真希
野手 正敦
西田 基輝
松隈 協
山本 雅彦
松浦 徹
行俊 美和
大竹 義人
柴原 裕明
小池 章裕
岡村 視巧
礒野 裕吉
向 功
[法学部]
小屋 美穂
土居 大助
萩原 好美
唐川 善行
塩入 正章
村田 信雄
中村 尚子
長谷川 由里子
田中 吉幸
梶原 静香
鈴木 裕
紀平 昌之
栗嶋 裕充
白川 哲司
川村 拓司
辻尾 一仁
溝田 千彰
伊藤 友啓
河野 雄一
藤沢 利恵
[経済学部]
中辻 良和
春岡 雄一郎
笹倉 慎太郎
羅 賢一
亀山 早苗
谷川 哲一
宮井 隆
榎原 俊樹
大久保 武志
田中 慎吾
青木 康広
五十嵐 光博
入江 徹
中西 良明
安藤 勝康
伊藤 泰弘
北川 順一
岸本 祥
[商学部]
田口 明宏
東耕 綾
廣谷 安奈
高井 一弘
山本 智江
山内 幸治
藤井 俊成
井田 康照
金谷 充子
宮内 秀夫
冨尾 太郎
碇武 宏章
長島 寛
田中 規貴
[総合政策学部]
赤澤 宏樹
岡本 好史
清水 詠
岡田 直俊
稗田 靖久
渡里 晃弘
上田 寛子
高 伸夫
新田 智道
三上 健治
石神 安記
南 貴之
猪井 淑雄
橋村 勝祐
古瀬 浩雄
藪 恵一
[人間福祉学部]
浅野 頼信
田渕 信仁
松村 好
吉田 昌広
西岡 健
西村 嘉晃
田附 芳夫
東田 文太郎
村田 式子
上田 達志
[教育学部]
中村 靖子
長濱 潤
武貞 繁利
本庄 恵美子
瀧川 幸代
西田 泰博
竹間 郁夫
宮崎 陽平
豊嶋 忠
久保田 学
福本 雅仁
手塚 雄一
隠地 隆幸
[国際学部]
石井 聖子
村上 由一
栗原 圭介
林 路人
山根 英樹
森本 俊寿
門山 康次
渡部 総一郎
[理学部]
伊藤 勇志
小林 勝則
松下 千春
栗本 英治
姫井 繁男
川嵜 成一
山本 尚司
岩橋 宏幸
[工学部]
狗巻 勝博
馬渕 圭
山中 啓資
金子 忠昭
立花 直樹
有川 順一
小西 淳
[生命環境学部]
中谷 恵子
田伏 儀浩
杉本 泰子
辰馬 清
斉藤 賢介
飯島 健司
井上 圭太郎
[建築学部]
佐藤 毅
野々山 純子
村中 宏行
江嵜 修一
桑原 浩司
[短期大学]
二川 かおる
池田 卓司
[高等部]
廣田 雄一
徳永 真介
高橋 太朗
岡野 泰和
鹿谷 幸平
杉浦 秀喜
松本 鉄也
梅田 真樹
谷川 夏樹
[中学部]
辰己 真一
佐藤 嘉晃
高村 祐輝
森 光太郎
久松 未於
中田 育宏
[初等部]
関 淑束
山中 大介
朝山 順平
安田 謙介
杉原 由高
和田山 朋弥
[千里国際高等部]
野村 文則
山本 晴津子
久保田 勝大
[千里国際中等部]
水垣 乃衣子
池田 和枝

代　議　員
[文学部]
阪下 考研
小寺 康裕
城ノ下 香与子
岡本 裕文
中川 陽介
織田 浩二
木村 豪
高橋 貴大
藤田 直一
藤田 哲也
大平 幸司
山本 健司
鯛谷 貞夫
明野 員茂
小林 正樹
久米 將実
岩瀬 普
大西 康晴
白石 園子
飛田 貴史
前村 こずえ
松本 幸久
米田 英一
三宮 朋広
高井 真司
浜田 卓
宮本 健司
山口 能孝
清水 久恵
谷木 優子
大波加 浩
寺田 亜紀子
中村 浩一郎
小川 大輔
本郷 亮
伊藤 博之
今井 雄一
樋田 哲也
大山 尚徳
提中 久恵
井澤 真也
香川 智史
佐伯 裕加恵
森本 誠吾
山中 典子
森重 新二郎
[社会学部]
横井 一晴
横井 正
望月 大輔
御法川 卓爾
藤田 元
岡本 研二
中畑 仁美
山 泰幸
高橋 裕和
塚本 理恵
吉田 道男
高畑 祥示
中屋 絵美
千葉 知子
小出水 寛子
六田 伸彦
梅川 真衣子
藪 英昭
長手 裕輔
山本 孝博
山本 勝久
奥野 貴司
木崎 宏光
高本 克彦
村上 春樹
大西 史浩
辻 慎一郎
平田 育久
石原 慶丈
水澤 修
水田 圭一郎
木田 卓
巽 隆太
有泉 剛
荒尾 真治
[法学部]
山品 能彦
正井 真也
伊藤 威
酒井 めぐみ
金子 昭彦
松本 深佳
保福 忍
福本 朋子
中川 敦雄
前田 清
小谷 展久
安達 英二
坂口 浩介
神長倉 英二
前田 頼孝
松田 小鈴枝
西川 敬人
中村 雄大
稲葉 真方香
岩田 秀樹
中村 均
祖父江 年晃
高橋 穣
栩木 要
山元 法樹
天春 淳
松尾 俊之
齋藤 裕之
岸野 裕児
上田 勇次
辻井 健太
上田 健
前坂 靖
福井 豊
山本 美樹
廣地 修
中林 明日香
福井 健司
[経済学部]
奥島 基裕
武知 健治
山口 エリサ
赤井 一隆
小西 一裕
大西 洋三
山本 浩良
伊藤 彰子
大東 俊也
藤中 克也
新井 貴浩
牛尾 裕
鈴木 康人
田渕 英裕
下田 浩司
黒子 裕司
金田 健一
深澤 俊男
小南 貴子
中谷 潤
橋本 知宜
川口 洋
梶原 章
有馬 隆幸
大西 健五
山中 一浩
土屋 勇蔵
土井 豊
杉谷 由緒
堀越 利清
中後 善文
坂本 佳也
井上 明
加藤 博也
有澤 好美
松崎 泰
高見 健
影山 大
池崎 恒樹
後藤 博
古賀 麻依子
戸村 渉
新田 隆史
森重 彰
[商学部]
土肥 奈央子
佐伯 栄子
長安 俊之
林田 博一
宮河 義弘
喜田 和宏
岩田 研一
大高 政明
木下 佳世
内海 大成
由里 正博
岩崎 順子
冨江 広樹
小川 等
小浪 寿文
荒川 礼
加藤 久典
武智 義明
小野 暢康
大久保 章
蒲生 武志
古谷 聡司
伊東 正弘
今西 清敬
上島 一彦
上田 耕次
小原 泰史
田之畑 征仁
河井 由紀子
神田 敬嗣
木田 佳男
細畠 拓
山中 亨
浜田 豊春
己斐 真理
[理工学部]
中村 光伸
[総合政策学部]
本間 太郎
河上 まさみ
関口 美咲
佐藤 愛美
酒井 めぐみ
山本 昌弘
佐川 和生
川北 耕一郎
内田 昌文
岡村 英明
富山 昭典
山口 悦代
水口 圭司
岡田 誠
太田 保
坂谷 和宏
橋本 幸一郎
廣瀬 哲也
福島 和代
石井 大士
清水 弘貴
隈元 和美
清水 木綿子
宮崎 栄一
藏持 朝子
寺東 直人
鈴木 太
中城 立史
[人間福祉学部]
酒井 均
小倉 広光
森 孝之
笠原 紀子
倉田 由美
大塚 記美代
小田 貴洋
太田 光尋
北庄司 英雄
澤田 佳之
藤原 久彦
佐野 順子
中野 憲司
牧野 太郎
北野 正量
池田 光隆
古河 大典
[教育学部]
森 健一
黒山 嘉一
山田 孝雄
上田 貴嗣
佐藤 隆広
齋藤 浩
平井 貴世
坂上 正臣
関田 寿里
細見 隆宏
松本 竜成
内田 和嘉
小山 徹
竹本 昭彦
粟津 政司
山内 義之
児玉 至正
山崎 光
湯川 直毅
今井 貴寛
[国際学部]
佐々木 知寿子
南山 隆敏
大石 剛士
児島 智子
山田 智幸
山田 英雄
千葉 泰三
ｽﾀﾝﾊﾞｰｸﾞ･ﾄﾞﾅﾙﾄﾞ
田中 哲也
永田 孝昭
藤井 一成
高居 健一
坂本 和弘
喜多 格民
南城 則行
永野元 秀輝
[理学部]
中村 吉孝
大川 裕之
窪田 博
南 弘奇
島田 勇
須藤 孝一
岡田 和士
[工学部]
中川 一
田中 亨治
西山 武志
竹村 仁志
河尻 毅
伊東 昌一
進藤 渉
佐藤 哲也
花森 功
平山 理
川瀬 由佳
松平 明夫
忽那 寿一
矢野 雅史
岩田 詠美
[生命環境学部]
花房 廣安
野洲 嘉倫
有賀 保博
伏見 智恵子
濱本 憲哉
宮崎 智彦
廣島 茂雄
石川 誠
大西 寛
若原 康男
絹川 徹
末原 亮介
[建築学部]
松田 英和
大倉 武
板場 大海
柳原 勝
大島 友美
竹中 秀一朗
竹本 哲也
川瀬 隆
[短期大学]
岩井 琢磨
大内 愛
歳内 敬子
河本 聖子
松永 和子
[高等部]
西崎 順也
辰巳 弘光
飯森 良光
原 康之
平生 慎一
山﨑 準
松浦 光彦
藤本 考秀
瀬賀 誠一郎
松下 明香
有田 泰久
下沖 正博
児玉 友宏
緒方 直人
海藏寺 寿之
[中学部]
下浦 伸一
清水 僚介
内倉 優
大川 大樹
松本 かよ子
浜田 尚宏
中西 一博
豊島 淳
[初等部]
柴田 大船
山本 和也
山﨑 洋介
堀古 修平
江口 公浩
大川 博敏
[千里国際高等部]
三ツ井 方子
三反田 文優子
[千里国際中等部]
野口 浩孝
窪田 千晶
仁科 友代

イベントレポート

後援会事業として開催している各種イベントの様子をお届けします。

代議員会

2024年6月30日開催

代議員会とは後援会の総会にあたり、前年度の事業報告や決算、新年度の事業計画や予算案について協議されました。各校から近況をお知らせいただいた後に、日頃よりお世話になっております教職員の方々をお招きした懇親のひと時をもち、親睦を深めることができました。会の目的達成のため後援会員である皆さまから頂戴した声を後援会事業に活かしてまいります。

保護者交流会

後援会では、教育懇談会を補完することを目的とした保護者交流会を10数か所にて開催しています。開催地域は隔年ごとに変わります。開催地やスケジュールについては後援会Webサイトをご覧ください。

▶後援会Webサイト
https://kgkouenkai.jp/event/2024/04/2024.html

Parents' Voices

◆留学は長期間にわたるイメージでしたが、期間も目的も様々な留学制度があることを知れたのが良かったです。

◆就職活動について、企業側の動きなども知ることができました。キャリアセンターの手厚いサポートが受けられると分かり、安心しました。

◆大学ではなかなか保護者同士で交流できないので、同年代の子どもをもつ保護者の方とお話しできるのは貴重な機会だと感じます。

◆知り合いもいないため、敷居が高く感じ、緊張しながら参加しましたが大学職員の方や、保護者の方と楽しい時間を過ごせました。

父母歓迎企画

Let's go to the Stadium!

本事業は、父母への還元はもちろん、学生活動の支援も目的としています。家族と共に、試合会場で関学生を応援することで、関西学院を身近に感じていただきたいという思いから、近畿圏外での開催も計画中です。実際に試合会場で、皆さまからの応援を受けた学生の声を紹介します。次年度の開催も、奮ってご参加ください。

硬式野球部：2024年5月11日・12日開催

Student's Voice

関西学院後援会様の多大なるご支援のもと2日間で1500名以上の方々に阪神甲子園球場にお越しいただきましたこと心より感謝申し上げます。試合は皆さまの熱いご声援のもと最大のライバルである関西大学に2日間とも勝利し勝ち点を重ね、6季ぶりのリーグ優勝に王手をかける試合になりました。リーグ戦連覇、ならびに幣部初の全国制覇をめざし部員一同今後とも精進して参りますので、変わらぬ熱いご声援をよろしくお願いいたします。

関西学院大学体育会硬式野球部
4年生 主務　岩佐 恵理

アメリカンフットボール部：2024年4月20日開催

Student's Voice

昨年に引き続きイベントを開催していただき、今年も多くの方に観戦していただくことができました。このイベントを通して、今までアメリカンフットボールを知らなかった方々にもその魅力を感じていただけたのではないかと思います。私たちは皆さまの応援のおかげで、練習の成果を試合で発揮することができています。9月から始まる秋のリーグ戦も是非会場に足を運んでいただき、熱いご声援のほどよろしくお願いいたします。

関西学院大学体育会アメリカンフットボール部
4年生 主務　松浦 佑月

父母歓迎企画

KWANSEI GAKUIN WELCOME CONCERT

2024年4月14日開催

新年度を迎えた西宮上ケ原キャンパスで、応援団総部吹奏楽部によるコンサートを開催しました。音楽を通じて関西学院を体感するこの企画も、今後近畿圏外での開催を計画しています。次回の開催時も、子どもから大人まで幅広く楽しめる素晴らしい音楽の時間を、共に過ごしましょう。

Student's Voice

関西学院後援会の皆さまのご支援のもと、当演奏会を開催することができましたことを心より感謝申し上げます。演奏会にご来場くださった関西学院ファミリーの皆さまにとって、良き思い出の1つとなっておりましたら幸いです。創部70周年を迎えた伝統ある部として誇りと自覚をもち、今後もより良い音楽をお届けできるよう、活動に励んでまいります。これからも演奏会で皆さまにお会いできますことを、部員一同心より楽しみにしております。

関西学院大学応援団総部吹奏楽部 4年生 第70代部長　吉屋 美玖

Welcome to

KG campus

関西学院キャンパスツアー
西宮聖和キャンパス編が完成しました!

360°

VR360°動画で
キャンパスを
体感することが
できます。

教育学部、関西学院短期大学の学生が学ぶ西宮聖和キャンパスをご紹介します。隣接した幼稚園や保育所の子どもが日常的に訪れる「聖和の森」や、実践的な学びの提供に寄与するユニークな特殊教室など教育者としての素養を育む充実した施設をご覧ください。

動画のご視聴はこちらから ►►

1 見どころポイント

学生団体COR'sによる活気あるナビゲーション

ラーニングコモンズ「リプラ」の活用を促進し、学びの側面からキャンパスの活性化を図る学生団体「COR's」の学生がナビゲーションを担当。生き生きとした姿からは、普段の学びの成果が感じられます。

2 見どころポイント

緑に囲まれ癒される聖和の森

近隣の子どもや学生でにぎわう「聖和の森」は、都市部にあるキャンパスにいながら、季節感を感じられる貴重な場所です。360°緑に囲まれる環境を体感し、森の空気を味わってみてください。

3 見どころポイント

徹底した教材研究ができるおもちゃとえほんのへや

「おもちゃとえほんのへや」は保育者や初等教育者を育てるための体験型学習施設。種類豊富な玩具や絵本が多数揃えられており、心ゆくまで教材研究が行えます。珍しい玩具もあるので、細部まで必見です。

PRESENTS

プレゼントのご案内

関西学院の魅力いっぱいのイベントへご招待します!

関西学院後援会通信67号よりすてきなプレゼントをご用意しました。
関西学院後援会Webサイトまたは、下記二次元バーコードよりご応募いただいた方の中から、抽選で関西学院の各団体が主催するイベントに無料でご招待または、KGグッズをプレゼントいたします。皆さま、奮ってご応募ください。

応募締切 ► 2024年11月11日(月)受付分まで

※当選の発表は、各プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

1 関西学院大学応援団総部吹奏楽部 創部70周年記念 第63回定期演奏会

25組50名様分

日時:2024年12月26日(木)
開場17:00／開演18:00
会場:兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

※当選の発表は登録いただいたメールアドレス宛に順次ご案内いたします。

2 関西学院大学応援団総部チアリーダー部 The 38th K.G. Winter Festa

20組40名様分

日時:2024年12月20日(金)
開場17:00／開演18:00
会場:尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール

※当選の発表は登録いただいたメールアドレス宛に順次ご案内いたします。

3 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

30組60名様分

日時:2024年12月19日(木)
開場17:30／開演18:30
※全席座席指定
会場:ザ・シンフォニーホール

4 関西学院グリークラブ 第93回 関西学院グリークラブリサイタル 兵庫公演

20組40名様分

日時:2025年2月24日(月・祝)
会場:兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

※開場・開演時間は、グリークラブのWebサイトをご確認ください。

5 関西学院ふきん

5名様

綿100%、蚊帳生地を縫い合わせたふきんです。吸水性に大変優れており、使い込むほどに柔らかくなります。

6 モバイルバッテリー

5名様

関西学院のロゴと時計台がプリントされたモバイルバッテリー。外出先でも充電ができて安心です。

7 エコバッグ

5名様

ボーダー柄が爽やかなエコバッグ。付属のゴムでまとめればコンパクトにもち運べます。

8 今治タオルハンカチ

5名様

今治タオル生地でできた、コンパクトサイズのハンカチです。

9 ソリッドメモ&ペン

5名様

耐久性のあるカバー付きのメモ帳です。ボールペンも付属しており、すぐに使うことができます。左側には、名刺やメモを挟めるポケットがついています。

プレゼントのご応募について

プレゼントのご応募は、関西学院後援会Webサイト
「後援会通信アンケート・プレゼント応募フォーム」からお願いします。

こちらからご応募ください。

関西学院後援会　各種申し込み

関西学院会館からのお知らせ

Poplar RESTAURANT

レストランポプラ人気メニュー

Classic Afternoon Tea 2部予約制（14:30/15:30）

14:00からのカフェタイムでは、アフタヌーンティーセットが人気です。上ケ原キャンパスの緑に囲まれたリラックスした雰囲気で楽しむ、午後のティータイムは格別です。3日前までの要予約メニューとなります。皆さまのご予約をお待ちしております。

ご予約は
こちらから

商学部 石淵ゼミと共同開発スイーツ！

濃厚ショコラとドライフルーツのテリーヌ

商学部 石淵ゼミ14期生が、企画から開発、デザインや販促にも携わったコラボスイーツ「濃厚ショコラとドライフルーツのテリーヌ」を期間限定でポプラの店頭にて販売中です。灘の銘酒「福寿」の酒粕を有効活用し、フェアトレード（カカオ生産者の生活改善や経済的自立等を支援する）のオーガニックチョコレート「Kaoka」を用いた、“美味しいうえにエシカル”なスイーツ。Z世代のSDGsスタイルを、何度も試作を重ね、形にしました。
関学ブルーな化粧箱に包まれたチョコレートのテリーヌは、おもたせや贈答品にもぴったり。

スペシャルクーポン

ご予約の際に、「後援会通信を見た」とお伝えいただくと、

ご飲食代 **10%OFF**

※ 有効期限 2024年12月最終営業日まで
※ 前日17:00までのご予約に限ります
※ グループ4名様までご優待
※ 他の割引サービスと併用不可

お問い合わせ 窓口

レストラン ポプラ（レストランに関して）
TEL:0798-54-1188
営業時間　11:00-18:00
LUNCH　11:00-14:00
CAFE　14:00-18:00（L.O.17:00）
駐車場あり

Instagram

予約センター（宴会・婚礼・会議室に関して）
TEL:0798-54-6013
開室時間　9:00-17:00
※休館日（年末年始・夏季休館日）は除く

関西学院では、結婚式をキリスト教主義に基づく生涯教育の一環と位置付けており、司式を行う本学院の宗教主事と「ふたりにとって結婚とは何か？」「人を愛することは？」といったふたりの未来や結婚について考える機会を設けています。歴史ある本物の礼拝堂で結婚式をした後は、関西学院会館内のレセプションホールやレストランで披露宴や家族との食事会をすることができます。

ランバス記念礼拝堂
収容人数120名

レセプションホール
収容人数40～120名

レストランポプラ
収容人数20～60名

オハラホール
収容人数4～12名

想い出をカタチに
フォトウェディング

ランバス記念礼拝堂・時計台・中央芝生・正門など関学ならではの撮影スポットが人気！
思い出を振り返りながら、家族や友人を招いて撮影をお楽しみいただけます。ヴォーリズ建築の関西学院は、海外で撮影しているかのような幻想的な写真が撮れるのも魅力です。

お得に叶う！

平日の前撮りをスタートしました

前撮りに必要な内容を全て用意したお得な【前撮りプラン】をご用意！
詳細はWebサイト（下部二次元バーコード）からご覧いただけます！

前撮りプラン内容（例） 和装プランも対応可能です

- 衣装（タキシード・ウェディングドレス・衣装小物一式）
- 写真（撮影データ納品／100カット）
- 美容・着付け（新郎洋装1点・新婦洋装1点）
- お支度部屋　● アートブーケ・ブートニア

※関西学院会館予約センターからのご予約に限る

関西学院会館予約センター

ブライダル運営会社
株式会社MITAKA
TEL:0798-54-6013

ウェディングの
お問い合わせは
こちらから

関西学院後援会

関西学院後援会通信［67］　2024年秋号

事務局 ｜ 関西学院 総務部 校友課
〒662-8501 兵庫県西宮市上ケ原一番町1-155　TEL.0798-54-6010　FAX.0798-51-0929